

其ノ代表者ハ遲滞ナク第一號様式ニ準シテ届書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

公共團體又ハ社寺ニ屬スル土地カ森林タルニ至リシトキハ其ノ代表者ハ遲滞ナク第二號様式ニ準シテ届書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ牧野法第二條ノ規定ニ依ル管理方法ノ定アル牧野ヲ除クノ外其ノ公共團體又ハ社寺ニ屬スル原野、山嶽、荒蕪地又ハ森林タリシモノニシテ現ニ荒蕪セルモノニ付森林トシテ管理スヘキモノト否トヲ區分シ第三號様式ニ準シテ區分書ヲ作り地方長官ノ定メタル期間内ニ之ヲ地方長官ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

地方長官ハ區分ヲ更正シテ前項ノ認可ヲ與フルコトヲ得  
前二項ニ依リ認可ヲ受ケタル區分ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ其ノ公共團體又ハ社寺ニ屬スル森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ニ付第四號又ハ第五號様式ニ準シテ管理ノ方法ヲ記載シタル届書ヲ作り地方長官ノ定メタル期間内ニ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ但シ保安林及地方長官ニ於テ森林法第九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケシムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
前項ニ依リ届出テタル方法ヲ變更シタルトキハ公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四條 第十條ノ規定ハ森林法第十條ノ規定ニ依リ施業方法ヲ指定シ若ハ造林ヲ命シタル者ニ之ヲ準用ス

通達セシムヘシ

第十二條 森林法第二十八條ノ規定ニ依ル補償ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ行フヘシ

第十三條 森林法第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償スヘキ損害ハ其ノ伐採禁止ノ當時存在スル森林立木竹ヲ普通保安林ノ立木竹トシテ價額ヲ見積リ其ノ價額ノ年利五厘ニ相當スル金額ヲ以テ毎年ノ直接損害額ト看做シ之ヲ算定スヘシ

前項損害ノ算定ニ付テハ其ノ既ニ伐期ニ達シタル森林ニ在リテハ伐採禁止ノ當時其ノ未タ伐期ニ達セサル森林ニ在リテハ其ノ伐期ニ達シタル當時ノ立木竹ノ時價ヨリ三割ヲ減シタルモノヲ以テ普通保安林ノ立木竹ノ價額ト看做ス但シ地方長官ニ於テ必要ト認メタルトキハ時價ニ對スル割引ノ歩合ヲ増減スルコトヲ得

第十四條 伐期ニ達セサル森林ニ付テハ樹種、作業別及地方ノ慣行等ヲ斟酌シテ定メタル伐期ニ達シタル年ヨリ前條ノ補償ヲ爲スモノトス

前項ノ伐期ハ伐採禁止ノ際地方長官ニ於テ之ヲ保安林所有者ニ通達スヘシ

第十五條 森林法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル損害額ハ造林ニ要シタル實費額ニ依ルモノトス

第十六條 森林法第二十八條第一項ノ規定ニ依ル損害ノ補償請求期間ハ其ノ既ニ伐期ニ達シタル森林ニ在リテハ伐採禁止ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ九十日、其ノ未タ伐期ニ達セサル森林ニ在リテハ第十四條第二項ノ規定ニ依リ定マリタル伐期ニ達シタル年ノ初日ヨリ末日迄

第五條 森林法第十一條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ

第六條 森林法第十三條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ハ慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シ且之ヲ森林所有者ニ通知スヘシ

第七條 保安林編入解除ノ申請書ハ第六號様式ニ準シテ之ヲ作り第七號又ハ第八號様式ニ準シテ作りタル圖面ヲ添附スヘシ但シ全部ノ解除ニ付テハ圖面ノ添附ヲ要セス

第八條 森林法第十七條ノ規定ニ依リ申請書ヲ却下スル場合ニ於テハ理由ヲ附シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第九條 保安林ノ編入解除ニ關スル處分ノ告示アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク森林法第二十三條ノ通知及揭示ヲ爲スヘシ但シ其ノ處分カ一筆中ノ一部ニ係ルトキハ通知書ニ其ノ區域ヲ明示シタル圖面ヲ添附スヘシ

第十條 保安林ニ關シ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項發生シタルトキハ其ノ所有者ハ其ノ都度之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ森林法第十八條ノ規定ニ依ル告示アリタル森林ニ關シテモ亦同シ  
一 森林所有者ノ變更  
二 地番ノ分合  
三 地形又ハ林相ノ異動但シ輕微ナルモノヲ除ク  
前項第一號ノ届出ハ新ニ所有者トナリシ者ニ於テ之ヲ爲シ届書ニ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十一條 農商務大臣ニ於テ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ指定ヲ爲ス場合ニ於テハ地方長官ヲシテ之ヲ保安林所有者ニ

トス

森林法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル損害ノ補償請求期間ハ各年分ニ付翌年三月三十一日迄トス

第十七條 森林法第二十八條ノ規定ニ依ル補償ヲ請求セムトスル者ハ請求書ニ損害算定書ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ請求者ニシテ立木竹ノミノ所有者ナルトキハ其ノ所有ヲ證スヘキ書面ヲ請求書ニ添附スヘシ

第十八條 森林法第二十八條第三項但書ノ規定ニ依ル負擔ノ要否及其ノ金額ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ決定スヘシ

前項ノ負擔金額ハ地方長官ニ於テ之ヲ徵收ス  
第十九條 森林法第三十二條ノ處分アリタルトキハ地方長官ハ地方慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シ且土地所在ノ市町村役場ニ揭示スヘシ  
箇所ヲ指定シテ前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ前項ノ手續ヲ爲スノ外其ノ旨ヲ土地所有者ニ通達スヘシ

第二十條 森林法第四十條ノ規定ニ依リ土地使用ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ事業計劃書及圖面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ  
前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 使用スヘキ土地ノ所在、地番、種目、所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
- 二 使用面積
- 三 使用ノ時期及期間
- 四 使用ノ目的



第二十一條 使用スヘキ土地内ニ左ニ掲ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ前條ノ申請書ニ添附スヘシ

- 一 御料墓地及御料地
- 二 國有地
- 三 現ニ公用ニ供スル土地
- 四 社寺境内地
- 五 名所、舊跡及古墳墓

第二十二條 前二條ノ規定ハ森林法第四十條第一項但書ノ規定ニ依リ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 森林法第四十條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ得又ハ協議調ヒタル後同條同項ノ目的ニ土地ヲ使用スルコトヲ廢止シタル者ハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ帝室林野管理局又ハ政府ニ在リテハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ届書又ハ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 森林法第五十五條ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求めムトスル者ハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出スヘシ

- 一 申請人及相手方ノ氏名、名稱、住所
- 二 使用又ハ收用スヘキ土地ノ所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
- 三 申請ノ目的及理由
- 四 立證方法

第二十五條 森林法第五十六條ノ規定ニ依リ土地收用法第六十七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ爲ス公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

爲スヘシ

第二十六條 第二十條乃至第二十五條ノ規定ハ森林法第五十七條ノ規定ニ依ル水ノ使用ニ關スル權利、其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ使用又ハ收用ニ之ヲ準用ス

第二十七條 森林法第五十八條ノ規定ニ依リ工作物ノ使用、變更又ハ除却ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ事業計劃書及必要ノ圖面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 使用、變更又ハ除却スヘキ工作物ノ種類、所在、位置等
- 二 使用、變更又ハ除却スヘキ工作物ノ所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
- 三 使用、變更又ハ除却ノ時期及期間
- 四 使用、變更又ハ除却ノ目的
- 五 其ノ他工作物ノ使用、變更又ハ除却ニ關スル重要ノ事項

第二十八條 前條ノ規定ハ森林法第五十八條第一項但書ノ規定ニ依リ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 第二十三條ノ規定ハ工作物ヲ使用シ、變更シ又ハ除却スルコトヲ廢止シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 第二十四條ノ規定ハ森林法第五十八條第三項ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求ムル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 地方森林會ノ裁決ハ會長ニ於テ其ノ隱本ヲ當事者ニ交付スヘシ

第三十二條 森林法第六十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り、目

標ヲ設置シ又ハ支障木竹ヲ伐採セムトスル者ハ地方長官ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三十三條 森林法第六十七條但書ノ規定ニ基キ森林組合ニ加入ノ義務ナシト定メタル者ノ員數及其ノ所有ニ係ル森林面積ハ之ヲ同法第六十六條各號ノ計算ニ加ヘス

第三十四條 森林組合設立ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ定款ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ示シ期間ヲ指定シテ意見ヲ申出テシムヘシ

森林組合設立ノ際第三十六條第二項ノ規定ニ依リ加入義務ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ期間内ニ地方長官ニ申請スヘシ

第三十五條 森林組合設立ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ定款及前條第一項ノ規定ニ依ル意見書其ノ他森林法第六十六條ニ定メタル條件ヲ具備スルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第三十六條 御料林又ハ國有林ニ付テハ帝室林野管理局又ハ政府ハ獨立シテ經營スルヲ不便ナリトスル場合ヲ除ク外森林組合ニ加入スルノ義務ナキモノトス

前項以外ノ森林ニシテ試験、演習等特種ノ目的ニ供セラレ若ハ面積廣大ニシテ獨立經營ノ方法確定シ其ノ他特別ノ事情アル場合ニ於テ地方長官之ヲ協同經營ニ屬セシムルノ必要ナシト認メタルモノニ付テハ其ノ森林所有者ハ森林組合ニ加入スルノ義務ナキモノトス

第三十七條 森林法第九條、第十條、第二十七條又ハ第七條ノ規定ニ依リ處分ヲ受ケタル森林カ森林組合ノ經營ニ屬シタル場合ニ於テ

其ノ處分ノ變更又ハ解除ヲ要スルモノアルトキハ森林組合ハ其ノ處分ヲ爲シタル官廳ニ對シ其ノ變更、解除ヲ申請スルコトヲ得

第三十八條 森林組合ニ於テ森林ノ施業案若ハ施業要領、造林計劃、林道若ハ河川ニ關スル工事、其ノ他事業ノ計劃設計ヲ定メムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項認可申請書ニハ其ノ費用及其ノ收支ニ關スル豫定ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第三十九條 森林組合ニ於テ總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款中ニ總代ノ選任解任ノ方法、員數及任期ニ關スル事項ヲ規定スヘシ

第四十條 森林組合合併ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ理由書、總會ノ決議錄、財産目錄、貸借對照表、合併契約書及合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

森林組合解散ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ理由書及總會ノ決議錄ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第四十一條 左ノ各號ノ場合ニ於テハ森林組合ハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

- 一 定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ
- 二 理事、監事ノ選任若ハ解任アリタルトキ又ハ其ノ缺ケタルトキ
- 三 森林組合令第十六條第一號第二號又ハ第五號ノ事項ヲ定メタルトキ
- 四 森林組合令第二十三條第二項ノ書類ニ付總會ノ調査ヲ經タルトキ



第四十二條 森林組合ヨリ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

第四十三條 森林法第七十八條第二項ノ規定ニ依リ火入ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ帝室林野管理局所管地ニ付テハ同局森林官吏、林區署所管地ニ付テハ同署森林官吏、其ノ他ノ土地ニ付テハ警察官吏ニ申請スヘシ

火入ヲ爲サムトスル土地カ他人ノ所有若ハ占有ニ屬スルトキハ所有者又ハ占有者ノ承諾ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ但シ帝室林野管理局所管地及林區署所管地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 前條ノ申請ヲ許可シタルトキハ第九號様式ニ準シテ許可證ヲ作り之ヲ申請人ニ交付スヘシ

前項ノ許可證ハ火入者ニ於テ火入ノ際之ヲ携帯スヘシ

第四十五條 火入ニ付延焼其ノ他危害ノ虞アルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ハ何時ニテモ火入ノ差止又ハ火入ノ方法若ハ期日ノ變更其ノ他相當ノ處置ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 火入ヲ爲シタル者ハ火氣消滅シタル後ニ非サレハ其ノ場所ヲ立去ルコトヲ得ス

第四十七條 第十條ノ規定ハ森林法第一百七條ノ規定ニ依リ造林ヲ命シタルモノニ之ヲ準用ス

第四十八條 第四十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者又ハ許可ヲ得タル期日ニ違ヒテ火入ヲ爲シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十六條ニ違反シタル者亦同シ

第四十九條 第四條、第十條、第二十三條第一項、第二十六條、第二十九條、第四十七條及第五十條ノ規定ニ違反シテ届出ヲ怠リタル者又ハ第四十四條第二項ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

第五十條 本則施行ノ際現ニ森林法第二條ノ規定ニ依リ保安林所有者タル者ハ本則施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ其ノ土地ニ關スル權利ヲ證スル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五十一條 地方長官前條ノ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ其ノ保安林カ舊森林法ノ規定ニ基キ土地所有者ニ對シ施業法要領ヲ通達シタルモノナルトキハ遲滞ナク更ニ森林所有者ニ對シ之ヲ通達スヘシ其ノ届出前前條ノ保安林所有者アルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第五十二條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ本則施行ノ際現ニ存在スル公有林又ハ社寺有林ニ付第十號様式ニ準シテ届書ヲ作り本則施行後遲滞ナク之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第五十三條 本則施行前第三條若ハ前條ノ届出ニ相當スル届出ヲ爲シ又ハ第二條ノ認可ニ相當スル認可ヲ受ケタルモノアルトキハ其ノ届出又ハ認可ハ本則ニ依リタルモノト看做ス

第五十四條 本則ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(様式略)

### ○森林法施行手續

明治四十年十二月二十六日 農商務省訓令第三十號

第一條 森林法第十條第一項ノ規定ニ依リ施業方法ヲ指定セムトスルトキハ第一號様式及第二號様式ニ準シ施業方法書及圖面ヲ作成シ其ノ處分書ニ之ヲ添附スヘシ

第二條 地方長官森林法施行規則第六條ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク之ヲ森林所有者ニ通知スヘシ

第三條 地方長官ハ保安林ノ編入解除及森林法第三十二條ノ處分ニ關スル調査ヲ行フヘシ

前項ノ調査ハ利害關係顯著ナルモノヨリ逐次之ニ著手スヘシ但シ保安林ノ編入解除ニ付申請アリタルトキ又ハ官廳ノ通知アリタルトキハ速ニ其ノ箇所ノ調査ヲ行フヘシ

第四條 保安林編入ニ關スル調査ハ其ノ編入ノ目的ニ依リ左ノ十二種ニ區分シテ之ヲ行フヘシ

- 一 土砂打止林
- 二 飛砂防止林
- 三 水害防備林
- 四 防風林
- 五 潮害防備林
- 六 類雪防止林

- 七 墜石防止林
- 八 水源涵養林
- 九 魚附林
- 十 目標林
- 十一 衛生林
- 十二 風致林

前項ノ場合ニ於テ編入ノ目的二種以上ニ涉ルモノアルトキハ其ノ主ナル目的ニ依リ前項ノ區分ヲ爲スヘシ

第五條 保安林編入調査ニ關スル調査ニ付テハ左ノ書類ヲ作成スヘシ

- 一 保安林編入調査書 第三號様式及第四號様式
- 二 保安林調査地圖 第五號様式
- 三 保安林解除調査書 第六號様式
- 四 保安林解除地圖 (全圖解除ノ場合ヲ除ク) 第七號様式

前項ノ外必要ニ應ジ編入解除ノ區域、其ノ附近ノ地形並地物配置ノ状態ヲ明ニシタル概況圖ヲ作成スヘシ

第六條 保安林編入解除ノ關係ニ府縣以上ニ跨ル場合ニ在リテハ關係地方長官協議ノ上保安林調査ヲ爲スヘシ

第七條 地方長官ニ於テ保安林ノ解除ヲ必要ト認メ又ハ保安林解除ノ申請若ハ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ二府縣以上ノ利害ニ關係アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ關係地方長官ニ通知シ意見ヲ求ムヘシ

第八條 森林法第二十一條ノ規定ニ依ル意見書ハ之ヲ地方森林會ニ送附スヘシ

第九條 森林法第十八條ノ通知及告示ヲ爲シタル日、地方森林會ノ開



會及閉會ヲ爲シタル日ハ之ヲ森林法第二十二條ノ規定ニ依リ差出ス  
 ヘキ關係書類ニ於テ明瞭ナラシムヘシ  
 第十條 保安林ノ伐採ハ擇伐法ニ依ルヘシ但シ其ノ保安林ノ目的ヲ害セサル程度ニ於テ林種ノ改良其ノ他必要ナル目的ノ爲皆伐ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第十一條 保安林ハ一箇所(編入調書ノ一筆)毎ニ施業ヲ爲サシムヘシ但シ其ノ保安林ノ目的ヲ害セスト認ムルトキハ二箇所以上ヲ併合シテ一施業ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第十二條 保安林一箇年間ノ伐採面積ハ輪伐齡ヲ以テ立木地全面積ヲ除シタル商以內トシ隔年作業ニ在リテハ其ノ商ニ隔年ノ年數ヲ乘シタル積ヨリ大ナラシムルヲ得ス但シ伐採區域ハ擇伐ニ在リテハ伐採面積三倍以上ナルヲ要ス  
 保育ノ爲爲ス木竹ノ伐採又ハ枯木竹、損木竹、危險木竹、若ハ支障木竹ノ伐採ハ木竹伐採ノ禁止又ハ施業方法ノ指定ニ拘ラス之ヲ行ハシムルコトヲ得但シ其ノ保安林ノ目的ヲ害スル虞アル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
 第十三條 散生地、無立木地又ハ荒廢地タル保安林ハ可成速ニ造林セシムヘシ  
 第十四條 農商務大臣ニ於テ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ地方長官ニ之ヲ通知スヘシ  
 第十五條 森林法施行規則第十二條ニ依リ認可ノ申請書ニハ損害算定書ヲ添附シ同規則第十八條ニ依リ認可申請書ニハ森林法第二十八條第三項但書ノ規則ニ依リ負擔ノ要否及其ノ金額ニ付意見ヲ具スヘシ  
 第十六條 地方長官ハ保安林ニ付開墾許可ノ申請アリタル場合ニ於テ

其ノ開墾ノ爲森林タルヲ失ハサルモノノ外之ヲ許可スルヲ得ス  
 第十七條 森林法第三十二條ノ規定ニ依ル處分ニ關スル調査ニ付テハ左ノ書類ヲ作成スヘシ  
 一 開墾制限(禁止)調書 第八號様式及第九號様式  
 二 開墾制限(禁止)地圖 第十號様式  
 三 開墾制限(禁止)解除調書 第十一號様式及第十二號様式  
 四 開墾制限(禁止)解除地圖(全部解除ノ場合ニ限リ) 第十三號様式及第十四號様式  
 第十八條 第六條及第七條ノ規定ハ森林法第三十二條ノ規定ニ依ル處分ニ之ヲ準用ス  
 第十九條 森林法施行規則第十九條ノ告示アリタルトキハ地方長官ハ之ヲ利害關係者ニ知ラシムル爲便宜ノ方法ヲ執ルヘシ  
 第二十條 森林法第四十條、第五十七條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘ又ハ協議ニ應セムトスル場合ニ於テ官廳ノ管理ニ屬スル物件又ハ現ニ公用ニ供スル物件ニ係ルモノアルトキハ豫メ其ノ物件ヲ管理スル官廳又ハ管理者ニ協議ヲ爲スヘシ  
 第二十一條 森林法第七十二條ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ組合ノ解散ヲ命セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ  
 第二十二條 森林法第七十六條ニ基キテ發シタル命令ノ規定ニ依リ警察官署ニ於テ森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ノ届出ヲ受理シタルトキハ之ヲ所轄區域內又ハ其ノ附近ニ在ル小林区署又ハ帝室林野管理局支廳出張所ニ通知セシムヘシ其ノ届出ニ係ル記號、印章ノ變更又ハ其ノ使用廢止ノ届出ヲ受理シタルトキ亦同シ

第二十三條 森林法第八十一條第一項ノ規定ニ依リ蟲類以外ノ動物又ハ細菌ノ驅除豫防ニ關シ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ  
 一 動物又ハ細菌ノ名稱、其ノ方言  
 二 主ナル被害產物ノ種類並被害ノ狀況  
 三 驅除豫防ノ方法  
 第二十四條 森林害蟲等ノ蔓延隣接府縣ニ及ハムトスルノ虞アルトキハ其ノ旨ヲ關係府縣ニ急報スヘシ  
 第二十五條 二府縣以上ニ涉リ害蟲等蔓延シタルトキハ關係地方長官協定シテ驅除豫防ヲ行フヘシ  
 第二十六條 森林法第七條ノ規定ニ依リ造林ヲ命セムトスルトキハ第十五號様式及第十六號様式ニ準シ造林方法書及圖面ヲ作成シ其ノ處分書ヲ添附スヘシ  
 第二十七條 森林法第七條ノ規定ニ依リ命スル造林ノ完了年限ハ可成速成ノ見込ヲ以テ之ヲ定ムヘシ  
 第二十八條 森林法第八條ニ該當スル保安林ハ明治四十三年度末迄ニ之ヲ調査スヘシ  
 第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ  
 一 森林法第二十七條ノ規定ニ依リ制限、禁止若ハ指定ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキ  
 此ノ場合ニ於テハ第三號様式及第四號様式ニ準シテ作成シタル調書ヲ添附スヘシ  
 二 同法第三十二條ノ規定ニ依リ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト

認ムルトキ  
 此ノ場合ニ於テハ第八號様式及第九號様式ニ準シテ作成シタル調書及第十號様式ニ準シテ作成シタル圖面ヲ添附スヘシ  
 三 第一號及第二號ノ制限、禁止又ハ指定ヲ變更、解除スルノ必要アリト認ムルトキ  
 第三十條 地方長官ニ於テ森林法第十一條第一項、第三十四條又ハ第七十七條第二項ノ規定ニ依リ造林ヲ行ハムトスルトキハ其ノ理由及左ニ掲クル事項ヲ具シタル認可申請書ニ第十七號様式ニ準シテ作成シタル造林事業豫算書ヲ添附シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ  
 一 造林費ノ徵收ニ關スル事項  
 二 義務者ノ資力ニ關スル事項  
 第三十一條 左ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ具シ農商務大臣ニ報告スヘシ  
 一 森林法第九條第一項ノ規定ニ依リ府縣令ヲ發シタルトキ  
 二 森林法施行規則第六條ノ規定ニ依リ告示ヲ爲シタルトキ  
 三 森林法第六十條ノ規定ニ基キテ府縣令ヲ發シタルトキ  
 四 同法第七十一條第二項ノ規定ニ基キテ府縣令ヲ發シタルトキ  
 五 同法第七十六條ノ規定ニ基キテ府縣令ヲ發シタルトキ  
 第三十二條 左ノ場合ニ於テハ農商務大臣ニ報告スヘシ  
 一 森林法第九條ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ變更ヲ命シタルトキ  
 此ノ場合ニ於テハ施業案ニ關スルトキハ其ノ施業案ヲ添附スヘシ  
 二 同法第十條第一項ノ規定ニ依リ施業ノ方法ヲ指定シタルトキ  
 此ノ場合ニ於テハ指定ヲ要スル理由ヲ具シ施業方法書ヲ添附ス



三 同法第十條第二項、第三十三條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依リ命令ヲ爲シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ森林法第七條ノ規定ニ依ル造林命令ニ關スルトキハ造林方法書ヲ添附スヘシ

四 同法第十一條第一項、第三十四條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ執行シタル造林ヲ終了セルトキ

此ノ場合ニ於テハ造林費ノ徵收ニ關スル事項ヲ具シ第十八號様式ニ準シテ作成シタル造林事業實行書ヲ添附スヘシ

五 第二號又ハ第三號ノ指定又ハ命令ヲ變更解除シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ

六 森林法第二十五條第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ

七 同法第四十條、第五十七條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ使用、變更又ハ除却ノ許可ヲ與ヘ又ハ協議ニ應シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ使用、變更又ハ除却スヘキ物件、期間、時期、目的、方法等ニ關スル重要ナル事項ヲ具シ且必要ニ應シ事業計劃書又ハ圖面ヲ添附スヘシ

八 同法第五十五條、第五十七條又ハ第五十八條第三項ノ規定ニ依リ地方森林會ニ於テ裁決ヲ爲シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ裁決書ノ謄本ヲ添附スヘシ

九 森林組合ノ設立ヲ許可シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ組合員ノ數、組合員ノ所有スル森林面積等ヲ

具シ且定款ノ寫ヲ添附スヘシ

十二 同法第六十八條第三項ノ規定ニ依リ定款變更ノ認可ヲ與ヘタルトキ

此ノ場合ニ於テハ變更ニ係ル事項中著シキモノニ關スル理由ヲ具スヘシ

十三 森林法施行規則第三十八條ノ規定ニ依リ事業ノ計劃又ハ設計ヲ認可シタルトキ但シ輕微ナルモノヲ除ク

此ノ場合ニ於テハ計劃又ハ設計ノ大要ヲ具シ又ハ必要ニ應シ計劃書若ハ設計書ヲ添附スヘシ

十四 森林法施行規則第四十一條第一號若ハ第四號ノ報告又ハ同條第三號中森林組合令第十六條第二號ノ事項ノ報告ヲ受ケタルトキ

此ノ場合ニ於テハ報告書寫ヲ添附スヘシ

十五 森林組合ノ合併ヲ認可シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ合併ヲ要スル理由ヲ具シ且合併契約書寫ヲ附添スヘシ

十六 森林法第七十二條第一號又ハ第二號ノ處分ヲ爲シタルトキ

此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ヲ詳具スヘシ

十七 森林組合ノ解散ノ事由ヲ具スヘシ

十八 森林害蟲等蔓延シ若ハ蔓延ノ虞アルトキ又ハ森林法第八十一條第一項ノ規定ニ依リ森林害蟲等ノ驅除豫防ヲ命シ若ハ自ラ之ヲ行ヒタルトキ

此ノ場合ニ於テハ害蟲ノ名稱、方言、主ナル被害産物ノ種類、被

害ノ狀況、驅除豫防ノ方法ニ關スル事項ヲ具スヘシ

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(様式略)

### ○鑛 業 法

明治三十八年三月七日 法律第四十五號

(改正)

明治四十年法律第四十一號、四十二年同第十號、四十四年同第九號、大正十三年同第十二號、昭和二年同第三十六號、昭和六年同第六十五號

#### 第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ試掘、探掘及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、銻鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯誤鐵鑛、滿俺鐵鑛、重石鑛、水鉛鑛、砒鑛、燐鑛、黑鉛、石炭、亞炭、石油、土瀝青及硫黃ヲ謂フ但シ砂鑛ハ此ノ限ニ在ラス

合油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ハ之ヲ石油ト看做ス但シ工業用ト他ノ營利ヲ目的トセスシテ單一一家ノ自用ニ供スルモノニハ本法ヲ適用セス

第三條 未タ掘探セサル鑛物(廢鑛及鑛滓ヲ含ム)ハ國ノ所有トス

第四條 本法ニ於テ鑛業權ト稱スルハ試掘權及探掘權ヲ謂フ

鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其ノ許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘探シ及之ヲ取得スル權利ヲ有ス但シ鑛區ノ重複シタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ互ニ其ノ權利ヲ制限セラル

第五條 帝國臣民又ハ帝國法律ニ從ヒ成立シタル法人ニ非サレハ鑛業權者トナルコトヲ得ス

第六條 本法ニ規定シタル鑛業權者ノ權利義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス

本法ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第七條 二人以上共同シテ鑛業ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サムトスルトキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ鑛山監督署長ニ届出ヘシ其ノ届出ナキトキハ鑛山監督署長之ヲ指定ス

代表者ハ國ニ對シ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ヲ代表ス

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタル者ト看做ス

第八條 本法ニ於テ鑛夫ト稱スルハ鑛業ニ従事スル勞役者ヲ謂フ

第九條 本法ニ於テ鑛區ト稱スルハ鑛業權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ

鑛區ノ境界ハ直線ヲ以テ之ヲ定メ地表境界線ノ直下ヲ限トス其ノ面積ハ石炭ニ在リテハ五萬坪以上其ノ他ノ鑛物ニ在リテハ五千坪以上トシ共ニ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ鑛利保護上又ハ鑛區分合上已ラ得サル場合ニハ百萬坪ヲ超ユルコトヲ得

同一ノ鑛區ニ於テハ二以上ノ鑛業權ヲ設定スルコトヲ得ス但シ其ノ目的異種ノ鑛物ナルトキ及第三十六條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 宮城、離宮、神宮及皇陵ノ周圍三百間以内並要塞地帯第一區内ノ場所ハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス



陸海軍所轄ノ軍港、要港、火藥製造所、火藥庫及彈藥庫ノ周圍三百間以内並要塞地帯第一區及第三區内ノ場所ハ所轄官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ鑛區ト爲スコトヲ得ス

第十一條 鐵道、軌道、道路、運河、河湖、沼池、堤塘、社寺境内地、墓地、公園地其ノ他ノ營造物及建物ノ地表地下トモ其ノ周圍三十間以内ノ場所ニ於テハ所轄官廳ノ許可、所有者及關係人ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ鑛業ヲ爲スコトヲ得ス但シ所有者及關係人ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付テハ鑛業ノ出願ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條 本法ニ於テ鑛業稅ト稱スルハ鑛區稅及鑛產稅ヲ謂フ

第十四條 本法ハ第八章ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ適用ス

第十五條 農商務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル職權ノ一部ヲ鑛山監督署長ニ委任スルコトヲ得

第二章 鑛業 權

第十六條 鑛業權ハ不可分トス

第十七條 鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分及強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス但シ探掘權ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

第十八條 試掘權ノ存續期間ハ登錄ノ日ヨリ二箇年トス

第十五條 鑛業權ハ物權トシ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民法第百七十九條第一項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 鑛業權ハ不可分トス

第十七條 鑛業權ハ相續、讓渡、滯納處分及強制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス但シ探掘權ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

第十八條 試掘權ノ存續期間ハ登錄ノ日ヨリ二箇年トス

前項ノ期間ハ鑛區ノ増減又ハ改正ノ爲變更セラレルコトナシ

第十九條 鑛業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅並處分ノ制限ハ鑛業原簿ニ登錄ス共同鑛業權者ノ脱退ニ付テモ亦同シ但シ鑛業權ノ處分ヲ制限セラレタルトキハ廢業ノ登錄ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ登錄ハ登記ニ代ルモノトス

登錄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 前條第一項ニ掲ケタル事項ハ相續、期限ノ到來ニ因ル鑛業權ノ消滅並第四十二條及第四十三條ノ競賣ノ場合ヲ除クノ外登錄ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十一條 鑛業ヲ爲サムトスル者ハ願書ニ鑛區圖ヲ添ヘ試掘ニ付テハ鑛山監督署長、探掘ニ付テハ農商務大臣ニ出願スヘシ

第二十二條 鑛業出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ試掘ニ付テハ鑛山監督署長、探掘ニ付テハ農商務大臣ニ届出ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十三條 探掘出願人ハ出願地ニ其ノ探掘セムトスル鑛物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ

第二十四條 農商務大臣ニ於テ試掘出願地探掘ニ適スルモノト認メタルトキハ探掘ノ出願ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ探掘ノ出願ヲ爲ササルトキハ試掘ノ出願ハ之ヲ許可セス

第二項ノ規定ハ農商務大臣ニ於テ探掘出願地仍試掘ヲ要スルモノト認メタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 探掘出願地ノ位置形狀鑛床ノ位置形狀ト相違シ鑛利ヲ損

認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第三十三條 試掘出願地又ハ探掘出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ

出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條、第三十一條第二項及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

試掘出願地探掘出願地ト重復スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十三條ノ二 試掘權者試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ他人ノ出願ノ目的異種ノ鑛物ナルトキハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ヲ以テ鑛業權者ト看做ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ探掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ第三十三條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ探掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後

認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第三十三條 試掘出願地又ハ探掘出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ

出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條、第三十一條第二項及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

試掘出願地探掘出願地ト重復スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十三條ノ二 試掘權者試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ他人ノ出願ノ目的異種ノ鑛物ナルトキハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ヲ以テ鑛業權者ト看做ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ探掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ第三十三條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ探掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後

認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第三十三條 試掘出願地又ハ探掘出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ

出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條、第三十一條第二項及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

試掘出願地探掘出願地ト重復スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十三條ノ二 試掘權者試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ他人ノ出願ノ目的異種ノ鑛物ナルトキハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ヲ以テ鑛業權者ト看做ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ探掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ第三十三條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ探掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後

認メタルトキハ鑛業ノ出願ヲ許可セス

第三十三條 試掘出願地又ハ探掘出願地重復スルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ願書發送ノ日時ノ先ナル者優先權ヲ有ス願書發送ノ日時同一ナルトキハ鑛山監督署長ハ之ヲ各出願人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テハ出願人ハ其ノ通知書發送ノ日ヨリ六十日以内ニ協議ヲ調ヘ之ヲ届出ヘシ

出願人前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ抽籤ニ依リ優先權者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ第二十五條、第二十六條、第三十一條第二項及第三十六條ノ場合ニハ之ヲ適用セス

試掘出願地探掘出願地ト重復スル場合ニ於テ願書發送ノ日時同一ナルトキハ其ノ重復スル部分ニ付テハ探掘出願人ハ優先權ヲ有ス

第三十三條ノ二 試掘權者試掘權ノ存續期間滿了後十日以内ニ同種ノ鑛物ニ付更ニ鑛業ノ出願ヲ爲シタルトキハ舊試掘鑛區ニ係ル部分ニ付テハ他ノ出願人ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テ他人ノ出願ノ目的異種ノ鑛物ナルトキハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ヲ以テ鑛業權者ト看做ス



ノ出願ニ之ヲ適用セス  
 第三十五條 探掘權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ農商務大臣ニ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ  
 抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ  
 第三十六條 鑛業權者ハ隣接鑛區ノ鑛業權者及抵當權者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ鑛區ニ掘進スル爲増區ヲ出願スルコトヲ得  
 鑛床ノ位置形狀ニ依リ隣接鑛區ニ掘進スルニ非サレハ鑛利ヲ保護スル能ハサル場合ニ於テハ其ノ鑛業權者ノ承諾ヲ得テ鑛區ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鑛業權者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス  
 前二項ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ其ノ願書ニ鑛區圖ノ外鑛床圖ヲ添附スヘシ  
 前項ノ鑛床圖ハ之ヲ鑛區圖ノ一部ト看做ス  
 第三十七條 第二十五條第一項、第二十六條、第二十七條及第三十三條第三項ノ規定ハ之ヲ鑛區ニ準用ス  
 第二十五條第一項ニ該當スル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ農商務大臣ハ探掘權ヲ取消スヘシ  
 抵當權ノ設定アル場合ニ於テ鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ豫メ抵當權者ノ承諾ヲ經ヘシ  
 第三十八條 錯誤ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ農商務大臣ハ鑛區ノ改正ヲ命シ又ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

前項ノ改正ヲ命シタル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲ササルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ  
 第三十九條 鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ  
 第四十條 鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日ヨリ一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキ又ハ施業案ニ依ラスシテ探掘ヲ爲シタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得  
 第四十一條 鑛業權者第七十二條ノ命令ニ從ハサルトキ又ハ鑛業稅ヲ納メサルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得  
 第四十二條 探掘權取消ノ登錄アリタルトキハ鑛山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ  
 抵當權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ探掘權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル探掘權取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス  
 探掘權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス  
 競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス  
 競賣人ハ探掘權取消ノ登錄アリタル時ニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス  
 第四十三條 前條ノ規定ハ探掘權者廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス  
 第四十四條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ施業案ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ  
 探掘權者ハ施業案ニ依ルニ非サレハ探掘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 鑛山監督署長ハ理由ヲ示シテ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ變更シタル施業案ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス  
 第四十六條 探掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ坑内實測圖及鑛業簿ヲ鑛業事務所ニ備置キ且其ノ複本ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ  
 第四十七條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛業ニ關スル明細表ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ  
 第四十八條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス  
 第四十九條 隣接鑛業權者其ノ他ノ利害關係人ハ他人ノ鑛區ニ付鑛山監督署長ニ其ノ實地調査ヲ出願スルコトヲ得  
 出願人ハ前項ノ調査ニ要スル人夫及物品ヲ供スヘシ  
 第三章 土地 使用  
 第五十條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第五十二條乃至第五十四條及第五十六條ノ通知前使用又ハ收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタル者ヲ謂フ  
 第五十一條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス  
 第五十二條 鑛業ノ出願又ハ鑛業ノ爲必要アルトキハ鑛業ヲ出願セムトスル者、鑛業出願人又ハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者他人ノ土地ニ立入りラムトスルトキハ豫メ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十三條 前條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ障礙物ヲ除却スルコトヲ得  
 前項ノ許可ヲ得タル者障礙物ヲ除却セムトスルトキハ豫メ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ  
 第五十四條 鑛業上急迫ノ危險ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ直ニ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得  
 前項ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ遲滞ナク之ヲ土地占有者ニ通知スヘシ  
 第五十五條 前三條ニ依リ所有者及關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ其ノ請求ニ因リ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第五十六條 鑛業權者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得  
 一 錐鑽孔又ハ坑口ノ開穿  
 二 鑛物、土石、爆發藥、用材、薪炭、鑛滓又ハ灰燼ノ置場ノ設置  
 三 選鑛場又ハ製鍊場ノ建設  
 四 鐵道、軌道、道路、運河、溝渠、管樋、池井、索道又ハ電線ノ開設  
 五 其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ施設  
 前項ノ規定ニ依リ鑛業權者他人ノ土地ヲ使用セムトスルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ  
 鑛山監督署長ノ許可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人



ニ通知スヘシ  
 前項ノ通知ノ後鑛業權者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ  
 第五十七條 土地ノ使用三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得  
 第五十八條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得  
 第五十九條 土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第六十條 土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第六十一條 土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、塙柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生スルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第六十二條 第五十六條ノ通知ノ後土地ノ形質ヲ變更シ工作物ノ新築、改築増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得  
 第六十三條 第五十六條ノ通知ノ後事業ヲ廢止又ハ變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ鑛業權者ハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ  
 第六十四條 土地所有者及關係人ハ鑛業權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ

擔保ヲ供セシムルコトヲ得  
 第六十五條 土地ノ使用又ハ收用ノ協議調ヒ裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セサルトキト雖鑛業權者ハ其ノ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得  
 第六十六條 鑛業權者補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得  
 第六十七條 土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ鑛業權者ノ之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス  
 土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ鑛業權者ノ之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス  
 第六十八條 土地ノ使用ヲ終リタルトキハ鑛業權者ハ土地ノ原狀ニ復シ又ハ原狀ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スヘシ  
 第六十九條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ使用又ハ收用ニ因リテ債務者ノ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ  
 第七十條 土地ノ使用及收用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之ヲ準用ス  
 第四章 鑛 業 警 察  
 第七十一條 鑛業ニ關スル左ノ警察事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農商務大臣及鑛山監督署長之ヲ行フ

一 建設物及工作物ノ保安

二 生命及衛生ノ保護

三 危害ノ豫防其ノ他公益ノ保護

第七十二條 鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ  
 急迫ノ危險ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛山監督署長ハ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得  
 第七十三條 農商務大臣ハ探掘權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命スルコトヲ得  
 管理者ノ資格及職務ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
 第七十四條 鑛業權消滅シタル後ト雖一箇年間ハ農商務大臣及鑛山監督署長ハ第七十二條ノ規定ニ準シ其ノ鑛業權ヲ有セシ者ニ對シテ危害豫防ニ關スル設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得  
 前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ危害豫防ノ目的ノ範圍内ニ於テ鑛業權者ト看做ス  
 第五章 鑛 夫  
 第七十五條 探掘權者ハ鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規則ヲ定メ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ  
 第七十六條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ  
 第七十七條 鑛業權者鑛夫ヲ解雇シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ因リ雇傭ノ期間、業務ノ種類、技能、賃金及解雇ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ與フヘシ

第七十八條 鑛業權者ハ毎月一回以上上期日ヲ定メ通貨ヲ以テ鑛夫ニ其ノ賃金ヲ支拂フヘシ  
 第七十九條 農商務大臣ハ命令ヲ以テ鑛夫ノ年齢及就業時間並婦女、幼者ノ勞役ノ種類ヲ制限スルコトヲ得  
 第八十條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ鑛夫カ業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スヘシ

第六章 鑛 業 税

第八十一條 鑛業權者ニハ鑛業稅ヲ課ス  
 金鑛、銀鑛、鉛鑛及鐵鑛ニ付テハ鑛產稅ヲ課セス  
 自己ノ掘探シタル鑛物ト他人ヨリ取得シタル鑛物トヲ合併シ製鍊スル場合ニ於テ其ノ取得鑛物ヨリ製出シタル鑛產物ニ付テモ亦前項ニ同シ但シ其ノ取得鑛物ノ數量カ自己ノ掘探シタル鑛物ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ超過部分ヨリ製出シタル鑛產物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
 第八十二條 鑛業權者ニハ其ノ鑛業ニ付營業稅及營業收益稅ヲ課セス  
 第八十三條 鑛區稅ハ鑛區一千坪毎ニ毎年試掘ニ付テハ三十錢、探掘ニ付テハ六十錢トス但シ一千坪未滿ハ之ヲ一千坪ト看做ス  
 第八十四條 鑛區稅ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ前納スヘシ  
 第八十五條 第一項ニ依ルモノヲ除ク外鑛業權ノ設定若ハ變更ノ登錄ニ依リ新ニ負擔シ又ハ不足セル鑛區稅ニシテ其ノ登錄ノ年ニ係ルモノハ之ヲ即納スヘシ  
 前項ニ依リ納付スヘキ鑛區稅ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス鑛業權ノ存續期間滿了ノ年ニ係ルモノ亦同シ



第八十五條 鑛產税ハ鑛產物ノ價格ノ千分ノ五トス  
 鑛產物ノ價格ハ主要ナル市場ノ平均相場ヲ標準トシ農商務大臣之ヲ  
 告示ス其ノ告示セサルモノハ之ヲ檢定ス  
 第八十六條 鑛產税ハ毎年三月中ニ前年分ヲ納付スヘシ但シ鑛業權消  
 滅ノ場合ニ於テハ即納スヘシ  
 第八十七條 共同鑛業權者ノ納稅義務ハ連帶トス  
 第八十八條 北海道、府縣及市町村ハ鑛業税ニ對シ各左ノ制限内ノ附  
 加税ヲ課スルコトヲ得

一 北海道、府縣

試掘鑛區税 千分ノ三十  
 探掘鑛區税 千分ノ七十  
 鑛產税 千分ノ二百

二 市町村

試掘鑛區税 千分ノ三十  
 探掘鑛區税 千分ノ七十  
 鑛產税 千分ノ二百

前項ノ附加税ノ外北海道、府縣及市町村ハ鑛業ニ對シ又ハ鑛夫、鑛  
 產物、鑛區若ハ直接鑛業用ノ工作物、器具、機械ヲ標準トシテ課税  
 スルコトヲ得ス  
 前二項ノ規定ハ北海道及沖繩縣ノ區並間切島其ノ他町村ニ準スヘキ  
 モノニ之ヲ準用ス

第七章 訴願訴訟及裁決

第八十九條 鑛業ニ關スル出願ノ許可又ハ拒否ニ不服アル者ハ訴願ヲ  
 提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴  
 訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條 第十一條又ハ第三十六條ノ承諾ヲ拒マレタル者及其ノ承諾  
 ヲ得ルコト能ハサル者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷  
 害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
 第九十一條 鑛業權ノ取消ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違  
 法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ  
 得

第九十二條 土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサル  
 トキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ  
 裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スル  
 コトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起  
 スルコトヲ得

第九十三條 處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケタル日ヨリ三十日ヲ經過シ  
 タルトキハ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ期間ハ處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケサル者ニ付テハ其ノ公示  
 ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八章 罰 則

第九十四條 鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐僞ノ所爲  
 ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ  
 處ス  
 過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ掘採シタル鑛物ヲ沒收ス既ニ之  
 ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第九十六條 第十條第三項若ハ第十一條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第  
 七十二條若ハ第七十四條第一項ノ命令ニ從ハサル者ハ二百圓以下ノ罰  
 金ニ處ス

第九十七條 第四十四條若ハ第四十五條第二項ノ規定ニ違背シタル  
 者、第四十五條第一項若ハ第七十三條第一項ノ命令ニ從ハサル者又  
 ハ第七十九條若ハ第八十條ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル  
 者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條 第四十六條乃至第四十八條、第七十六條又ハ第七十八條  
 ノ規定ニ違背シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 第五十三條第一項ノ許可ヲ受ケシテ障礙物ヲ除却シタ  
 ル者又ハ第七十五條ノ規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處  
 ス

當該官吏ニ對シテ鑛業ニ關スル書類若ハ物件ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ  
 妨ケタル者ハ罰前項ニ同シ但シ其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依  
 ル

第一百條 第七十七條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス  
 第一百一條 詐僞其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ鑛業税ヲ免レ又ハ免レムトシ  
 タル者ハ其ノ脱稅金額三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第一百二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニ  
 ハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用キス

第一百三條 鑛業權者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法

ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ鑛業權者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ  
 法定代理人ニ適用ス但シ鑛業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未  
 成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百四條 鑛業權者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他  
 ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ  
 出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令  
 ニ規定セル罰則ニ付テモ亦同シ

第一百五條 前二條ノ場合ニ於テハ禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得  
 ス

第一百六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キ  
 テ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

第一百七條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業條例ハ之ヲ廢止ス  
 第一百八條 鑛業條例ニ依ル試掘ノ認可ハ試掘權ノ登錄ト看做ス

第一百九條 日本坑法ニ依ル借區ノ許可及鑛業條例ニ依ル探掘ノ特許ハ  
 探掘權ノ登錄ト看做ス但シ鑛業條例第四十一條第二項ニ定メタル面  
 積ニ滿タサル鑛區ニ對スルモノハ其ノ期限ノ到來ニ因リテ消滅ス

第一百十條 本法施行前ニ於ケル官廳所屬ノ探掘區域ハ探掘鑛區トシ本  
 法施行ノ日ニ於テ探掘權ノ登錄ヲ得タルモノト看做ス  
 第一百十一條 鑛業條例ニ依ル探掘權ノ書入ノ登錄ハ抵當權ノ登錄ト看  
 做ス



第百十二條 第七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ試掘認可又ハ探掘特許ノ消滅シタル場合ニモ之ヲ適用ス但シ一箇年ノ期間ハ其ノ消滅ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第百十三條 日本坑法ニ依リ借區ノ許可ヲ得タル者及鑛業條例ニ依リ試掘ノ認可又ハ探掘ノ特許ヲ得タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ明治三十八年分ノ鑛區稅又ハ其ノ不足額ヲ納付スヘシ其ノ鑛區稅ハ月割ヲ以テ計算ス

第百十四條 明治三十八年分ノ鑛產稅ハ本法施行前ニ得タル鑛產物ニ付テモ之ヲ課ス

第百十五條 第八十八條ノ規定ハ明治三十八年度分ノ稅ニ限り之ヲ適用セス

第百十六條 鑛業條例ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第百十七條 本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル訴願、裁定請求、行政訴訟又ハ民事訴訟ニ關シテハ鑛業條例ノ規定ニ依ル

第百十八條 鑛業條例ニ依リ試掘又ハ探掘ヲ出願シタル鑛區ノ面積ニ付テハ鑛業條例第四十一條第二項ノ規定ヲ適用ス

第百十九條 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ重石鑛又ハ水鉛鑛ヲ掘採スル者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ鑛物探掘ノ特許ヲ出願スルトキハ其ノ掘採區域ニ限り第三十一條、第三十三條及鑛區ノ面積ニ關スル第九條ノ規定ニ拘ラス特許ヲ與フヘシ前項ノ掘採者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ特許ヲ出願

シタル者ハ其ノ指令ノ日迄本法ノ規定ニ拘ラス其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得  
第一項ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル區域ノ面積五千坪未滿ナル場合ニ於テハ其ノ特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキ消滅ス  
第百二十條 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ探掘スル者ハ同條同項但書ニ該當セサル場合ト雖明治四十年六月三十日迄ニ其ノ旨鑛山監督署長ニ届出ルトキハ其ノ届出ニ係ル坑井ヨリ噴出スル可燃質天然瓦斯ニ限り本法ヲ適用セス

○鑛業法施行細則

明治三十八年六月十五  
日農商務省令第十七號

(改正)

明治三十九年農商務省令第十五號、四十年同第八號、四十一年同第二十四號、四十二年同第十號、二十五年同第二十七號、二十六年同第二十八號、二十七年同第三十號、二十八年同第三十二號、二十九年同第三十四號、三十年同第三十六號、三十一年同第三十八號、三十二年同第四十號、三十三年同第四十二號、三十四年同第四十四號、三十五年同第四十六號、三十六年同第四十八號、三十七年同第五十號、三十八年同第五十二號、三十九年同第五十四號、四十年同第五十六號、四十一年同第五十八號、四十二年同第六十號、四十三年同第六十二號、四十四年同第六十四號、四十五年同第六十六號、四十六年同第六十八號、四十七年同第七十號、四十八年同七十二號、四十九年同七十四號、五十年同七十六號、五十一年同七十八號、五十二年同八十號、五十三年同八十二號、五十四年同八十四號、五十五年同八十六號、五十六年同八十八號、五十七年同九十號、五十八年同九十二號、五十九年同九十四號、六十年同九十六號、六十一年同九十八號、六十二年同一百號、六十三年同一百零二號、六十三年同一百零四號、六十三年同一百零六號、六十三年同一百零八號、六十三年同一百一十號、六十三年同一百一十二號、六十三年同一百一十四號、六十三年同一百一十六號、六十三年同一百一十八號、六十三年同一百二十號、六十三年同一百二十二號、六十三年同一百二十四號、六十三年同一百二十六號、六十三年同一百二十八號、六十三年同一百三十號、六十三年同一百三十二號、六十三年同一百三十四號、六十三年同一百三十六號、六十三年同一百三十八號、六十三年同一百四十號、六十三年同一百四十二號、六十三年同一百四十四號、六十三年同一百四十六號、六十三年同一百四十八號、六十三年同一百五十號、六十三年同一百五十二號、六十三年同一百五十四號、六十三年同一百五十六號、六十三年同一百五十八號、六十三年同一百六十號、六十三年同一百六十二號、六十三年同一百六十四號、六十三年同一百六十六號、六十三年同一百六十八號、六十三年同一百七十號、六十三年同一百七十二號、六十三年同一百七十四號、六十三年同一百七十六號、六十三年同一百七十八號、六十三年同一百八十號、六十三年同一百八十二號、六十三年同一百八十四號、六十三年同一百八十六號、六十三年同一百八十八號、六十三年同一百九十號、六十三年同一百九十二號、六十三年同一百九十四號、六十三年同一百九十六號、六十三年同一百九十八號、六十三年同二百號

第一條 願書、申請書、届書及圖面ハ一件毎ニ之ヲ調製シ様式ノ定アルモノニ付テハ其ノ様式ニ準スヘシ  
第二條 商工大臣又ハ鑛山監督局長ニ差出シタル書面、圖面又ハ標品ニシテ必要ト認ムルモノハ之ヲ返付セス  
第三條 鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ發スル場合ニ於テ受信人ノ住所不明ナルトキハ十日間其ノ要旨ヲ鑛山監督局ノ揭示場ニ揭示スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ期間満了ノ日ニ命令又ハ通知ヲ受ケタルモノト看做ス  
第四條 本則ノ規定ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ヲ出願

セムトスル者、鑛業出願人、鑛業權者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條 本則中鑛業ノ出願ニ關スル規定ハ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正、増減及改正ノ出願ニ付之ヲ準用ス

第六條 書面又ハ圖面不完備ナルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ修正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得

第七條 書面又ハ圖面ヲ郵便ニテ差出シタルトキハ消印記號ニ記載シタル最終ノ日時ニ差出シタルモノト看做ス

郵便物受取證ニ依リテ前項ノ規定ニ依ル日時外ノ日時ニ差出シタルコトヲ證明シタルトキハ其ノ日時ニ差出シタルモノト看做ス其ノ消印記號ナキ場合又ハ其ノ不明ナル場合ニ於テ郵便物受取證ニ依リテ

其ノ差出シタル日時ヲ證明シタルトキ亦同シ

第八條 商工大臣ニ差出スヘキ書面又ハ圖面ハ鑛山監督局長ヲ經由スヘシ此ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ニ差出シタル日時ヲ以テ差出ノ日時ト看做ス

第九條 同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ但シ同一ノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條 鑛業ノ許可ヲ得タル鑛物ノ名稱ヲ更正セムトスルトキハ願書ニ理由書ヲ添附シテ差出スヘシ

第十一條 共同鑛業出願人ハ願書ト共ニ連署シタル代表者選定ノ届書ヲ差出スヘシ

共同鑛業出願人ハ願書ニ代表者ヲ表示シテ前項ノ届出ニ代フルコト

ヲ得

前二項ノ規定ハ出願人ノ變更、鑛業權ノ設定又ハ移轉ニ因リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲ルヘキ者二人以上ナル場合ニ之ヲ準用ス但シ鑛業權設定ノ場合ニ於テハ登録稅納付書ニ代表者ヲ表示シタルトキハ之ヲ以テ代表者ノ届出ト看做ス

第十二條 共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ改定シタルトキハ連署ナク連署シテ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第十三條 鑛業法第七條第一項ノ規定ニ依リ鑛山監督局長代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スヘシ

第十四條 鑛業出願人代表者ニ依リテ鑛業出願ノ取下、區域増減ノ出願又ハ出願人變更ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ願書又ハ届書ニ其ノ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ハ代表者ニ依リテ鑛區ノ増減、合併又ハ分割ヲ出願スル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 鑛業ニ關スル出願ニシテ鑛利保護上又ハ鑛區分合上出願地及鑛區ノ面積百萬坪ヲ超ユル場合ニ於テハ願書ニ其ノ理由書ヲ添付スヘシ

第十六條 鑛業ノ出願地鑛業法第十條第二項ノ場所ニ係ルトキハ出願ノ日ヨリ三十日以内ニ所轄官廳ノ許可書若ハ許可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面又ハ許可ヲ申請シタルコトヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

鑛業出願後其ノ出願地鑛業法第十條第二項ノ場所トナリタルトキハ其ノ公示ノ日ヨリ三十日以内ニ前項ノ書面ヲ差出スヘシ



第十六條ノ二 鑛業出願地カ實地調査ニ因リテ鑛業法第十條第二項ノ場所ニ係ルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督局長ハ前條ノ規定ニ拘ラス相當ノ期限ヲ附シ其ノ差出スヘキ書面ノ提出ヲ命スルコトヲ得錯誤ニ因リ其ノ書面ノ添附ヲ遺漏シタルモノト認メタルトキ亦同シ第十七條 鑛業出願地ノ形狀鑛業ヲ爲スニ不適當ナリト認ムルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増減ヲ命スルコトヲ得第十八條 鑛業出願人他人ノ鑛區ニ隣接シテ鑛區ヲ定メムトスルトキハ中間ニ十間以上ノ距離ヲ置クヘシ但シ隣接鑛業權者ノ承諾ヲ得タルトキ、試掘鑛區ノ範圍内ニ於テ探掘ノ出願ヲ爲ストキ又ハ鑛業法第三十三條ノ二ノ規定ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

前項隣接鑛業權者ノ承諾ヲ得タルトキハ願書ニ承諾書ヲ添附シテ差出スヘシ之ヲ添附セザルトキハ承諾ナキモノト看做ス

鑛業ノ監督又ハ鑛利保護ノ爲前項ノ距離ノ延長又ハ減縮ヲ必要ナリト認ムルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ出願地ノ増減ヲ命スルコトヲ得

第十九條 鑛業願書ニ添附スヘキ圖面ハ様式第十四號ニ準シテ調製シ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ

- 一 出願地ノ名稱及種目
- 二 出願地ノ面積
- 三 南北線
- 四 縮尺
- 五 二箇以上ノ不動基點並其ノ名稱及特徵

六 出願地ノ各隅トナルヘキ測點並其ノ番號

七 境界線並基點ト連結シタル測點間ノ方位及其ノ間數

八 出願地ヨリ五十間以内ニ於ケル他ノ鑛區トノ關係

九 出願地又ハ其ノ附近ニ於ケル鑛床ノ露頭及其ノ走向、傾斜

十 出願地及其ノ附近ニ於ケル地形其ノ他鑛業法第十條又ハ第十一條ニ記載シタルモノ

第二十條 探掘出願人ハ其ノ願書ニ探掘セムトスル鑛物ノ鑛床ニ關スル說明書ヲ添附スヘシ

第二十一條 試掘又ハ探掘ノ願書及出願地又ハ鑛區ノ増減ノ願書ハ書留郵便ヲ以テ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ發送郵便局ヨリ受附ノ年月日及時刻ヲ記載シタル受取證ヲ請置クヘシ

第二十二條 鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シ出願人ニ鑛業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リテ設計書ヲ提出シタル試掘出願人カ出願ノ許可後其ノ設計ヲ變更シテ作業セムトスルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條ノ二 鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シ試掘權者ニ鑛業ノ設備ニ關スル設計書ノ提出ヲ命シ若ハ理由ヲ示シテ設計書ノ變更ヲ命スルコトヲ得

試掘權者カ前項ノ命令ニ依リテ提出シタル設計書ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ鑛山監督局長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十三條 (削除)

第二十四條 鑛山監督局長ハ鑛業ニ關スル出願又ハ鑛區ニ付實地調査

ヲ必要ト認ムルトキハ調査事項及調査期日ヲ指定シ出願人又ハ鑛業權者ニ立會ヲ命スルコトヲ得若シ調査期日ヲ指定スルコト能ハサルトキハ豫定期日ヲ定メ豫定期日ハ出張吏員ノ指定ニ依ルヘキコトヲ命スヘシ

出張吏員カ豫定期日ヲ指定スルトキハ少クトモ三日前ニ之ヲ通知スヘシ但シ出願人又ハ鑛業權者ニ於テ異議ナキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 鑛業出願人變更ノ屆書ニハ新舊出願人連署スヘシ

第二十五條ノ二 試掘權者其ノ試掘地ニ於テ探掘ノ出願ヲ爲シタル後出願人ノ變更ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ試掘權ノ移轉ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第二十五條ノ三 試掘權者其ノ試掘地ニ於テ探掘ノ出願ヲ爲シタル後試掘權ヲ移轉シタルトキハ出願人變更ノ届出アリタルモノト看做ス

第二十六條 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リテ鑛業出願人ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業出願人ハ戶籍吏ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ事實ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十七條 共同鑛業出願人脱退シタルトキハ代表者若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同出願人ハ脱退ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ理由ヲ證スル書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第二十八條 探掘出願地ノ訂正願書ニハ訂正理由書ヲ添附スヘシ

第二十九條 探掘出願地ノ訂正又ハ鑛業出願地ノ増減ノ願書ニ添附ス

ヘキ圖面ニハ新舊出願地ノ關係ヲ明示スヘシ

第二十九條ノ二 第三十六條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ出願人ハ出願地ノ増減並鑛種名ノ更正ヲ出願スルコトヲ得

第三十條 鑛業法第三十三條第二項ノ規定ニ依リ抽籤ハ關係鑛業出願人立會ノ上鑛山監督局長之ヲ行フ

鑛山監督局長ハ抽籤ノ日時ヲ定メ少クトモ十四日前ニ關係鑛業出願人ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル鑛業出願人抽籤日時ニ出頭セザルトキハ鑛山監督局長ハ二名以上ノ鑛山監督局職員立會ノ上之ヲ行フ

第三十一條 鑛區ノ合併又ハ分割ノ願書ニハ理由書ヲ添附シ且之ニ添附スヘキ圖面ニハ合併又ハ分割スヘキ區域ノ關係ヲ明示スヘシ但シ分割ノ願書ニ添附スヘキ圖面ハ各區域毎ニ之ヲ調製スヘシ

鑛業法第三十五條第二項ノ規定ニ依リ抵當權者ノ承諾書及抵當權ノ順位ニ關スル協定書ハ合併又ハ分割ノ願書ニ之ヲ添附スヘシ

第三十一條ノ二 鑛業法第三十三條ノ二ノ規定ニ依リ鑛業ノ願書ニハ其ノ旨ヲ記載シ且之ニ添附スヘキ圖面ニハ新舊區域カ舊區域ト異ナルトキハ其ノ關係ヲ明示スヘシ

第三十二條 鑛業法第三十六條第一項ノ規定ニ依リ鑛區増區ノ願書ニハ鑛床圖ノ說明書、隣接鑛業權者及抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ

鑛業法第三十六條第二項ノ規定ニ依リ鑛區訂正ノ願書ニハ鑛床圖ノ說明書、隣接鑛業權者ノ承諾書又ハ鑛業法第九十條ノ規定ニ依リ裁決書若ハ判決書ノ謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ願書ニ添附スヘキ鑛床圖ハ平面圖及截面圖ノ二種ニ分チテ



之ヲ調製スヘシ

第三十三條 鑛區訂正ノ願書ニ關シテハ第二十八條ノ規定ヲ準用ス  
第三十四條 鑛區ノ訂正、増減又ハ改正ノ願書ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 鑛業法第三十七條第三項ノ規定ニ依ル減區又ハ増減區ノ願書ニハ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第三十六條 鑛業ノ出願許可スヘキモノト決定シタルトキハ鑛山監督局長ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘシ

出願人ハ前項ノ通知書ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録稅ヲ納付スヘシ此ノ期間内ニ登録稅納付書ヲ差出シタルモ不受理ノ處分ヲ受ケタルモノハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ在リテハ期間後ト雖更ニ登録稅ヲ納付スルコトヲ得

登録稅ハ第一項ノ通知書ヲ受ケタル者若ハ其ノ代理人出頭シ又ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ納付スヘシ郵便ヲ以テ納付スル場合ニ關シテハ第七條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ登録稅ハ第一項ノ通知書ト共ニ納付書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ納付スヘシ

前四項ノ規定ハ第十條ノ出願ニ關シ之ヲ準用ス

第三十六條ノ二 鑛區ノ合併、分割、減區又ハ増減區ノ出願ニ付許可決定ノ通知ヲ受ケタル者ハ合併、分割又ハ減少前ノ鑛業權ニ付登録上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ登録稅納付書ニ添附シテ差出スヘシ但シ鑛區ノ分合又ハ増減ノ願書ト共ニ承諾書ヲ差出シタルモノニ付テハ納付書ニ其

ノ事由ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十七條 鑛區所在地ノ名稱、種目、境界、基點又ハ面積カ鑛區圖ト相違スルコトヲ發見シタルトキハ鑛山監督局長ハ相當ノ期限ヲ附シテ鑛業權ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令書ニ調査圖ヲ添附スヘシ

鑛山監督局長カ鑛業ノ表示變更ニ關スル鑛區圖ノ提出ヲ要セサルモノト認メタルトキ又ハ前項ノ命令ニ依リ提出シタル鑛區圖ヲ調査シ完備シタルモノト認メタルトキハ第三十六條第一項ニ準シ其ノ旨ヲ鑛業權者ニ通知スヘシ

第三十六條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理セス

一 試掘又ハ探掘出願地ノ全部カ所轄鑛山監督局ノ管轄區域内ニ在ラサルトキ

二 出願ノ鑛物カ鑛業法第二條ノ規定ニ該當セサルトキ

三 圖面ヲ添附スヘキ鑛業ノ願書ニ之ヲ添附セサルトキ又ハ添附圖面ニ依リ區域分明ナラサルトキ

四 手数料ヲ納付セサルトキ

五 (削除)

六 第十四條ノ規定ニ違背シ決議書又ハ之ニ相當スル書面ヲ添附セサルトキ

七 第二十一條ノ規定ニ違背シ書留郵便ヲ以テ差出ササルトキ

八 第二十五條ノ規定ニ違背シ新舊出願人連署セサルトキ

八ノ二 第二十五條ノ二ノ規定ニ違背シ試掘權ノ移轉ヲ證スル書面ヲ添附セサルトキ

九 第三十一條第二項ノ規定ニ違背シ承諾書及協定書ヲ添附セサルトキ

十 第三十二條又ハ第三十五條ノ規定ニ違背シ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附セサルトキ

第三十八條ノ二 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ登録稅納付書ヲ受理セス

一 第三十六條第四項又ハ第三十七條第三項ノ規定ニ違背シ通知書ヲ差出ササルトキ

二 第三十六條ノ二ノ規定ニ違背シ第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附セサルトキ

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ鑛山監督局長ハ願書又ハ届書ヲ却下ス

一 實地調査ノ際出願人カ出願區域ヲ明示スルコト能ハサルカ又ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依リテ指定シタル調査事項ノ説明ヲ爲スコト能ハサルトキ

二 願書ニ添附シタル圖面カ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ

三 第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササルトキ

四 第十六條ニ規定シタル期間内又ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ許可書又ハ證明書ヲ差出ササルトキ

五 第十七條又ハ第十八條第三項ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ區域増減ノ願書ヲ差出ササルトキ

六 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ設計書ヲ差出ササルトキ

七 (削除)

八 第二十四條ノ規定ニ依リテ指定シタル期日ニ出願人立會ヲ爲ササルトキ

九 第三十六條ニ規定シタル期間内ニ登録稅納付書ヲ提出シ又ハ郵便ニ附セサルトキ

十 第七十九條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ協定書ヲ差出ササルトキ

第四十條 相續其ノ他ノ一般承繼ニ因リテ鑛業權者若ハ抵當權者ト爲リタル者又ハ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業權者若ハ抵當權者ハ戸籍吏ニ届出タル日又ハ登記ノ日ヨリ十四日以内ニ其ノ登録ヲ申請スヘシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキハ之ニ準シテ其ノ事實ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第四十一條 鑛業權者鑛業ニ著手シタルトキハ遲滞ナク鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第四十二條 試掘權者ハ試掘鑛區圖及試掘工程表ヲ、探掘權者ハ坑内實測圖及鑛業簿ノ外探掘鑛區圖及鑛業施業案ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ

第四十三條 鑛業權者ハ鑛業權ノ設定若ハ移轉ノ登録アリタル日ヨリ六箇月以内ニ事業ニ著手セス又ハ六箇月以上休業セムトスルトキハ其ノ期間ヲ附シ理由ヲ詳記シテ鑛山監督局長ニ届出ヘシ  
休業期間内ニ事業ニ著手シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ鑛山監督局



長ニ届出ヘシ

第四十四條 鑛業施業案ハ様式第十九號ニ準シテ之ヲ調製シ之ヲ説明スヘキ圖面ヲ添ヘ鑛業ニ著手ノ日ヨリ三十日以前ニ差出スヘシ  
鑛業ノ種類又ハ狀況ニ依リ前項ノ規定ニ依リ難キモノアルトキハ理由ヲ明示シ様式ノ記載事項ヲ増減スルコトヲ得

第四十五條 鑛山監督局長ハ鑛業法第四十五條第一項ノ規定ニ依リ施業案ノ變更ヲ命スルニハ少クトモ三十日以上ノ期限ヲ附スヘシ

第四十六條 鑛業法第四十五條第二項ノ規定ニ依ル變更願書ニハ新ナル施業案及變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スヘシ

第四十七條 坑内實測圖ハ平面圖及截面圖ノ二種トシ少クトモ毎月末ニ於ケル掘進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スヘシ

坑内實測圖ノ複本ハ石炭坑ニ在リテハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各八月末日及二月末日迄ニ其ノ他ニ在リテハ毎年十二月末日迄ノ分ヲ二月末日迄ニ差出スヘシ但シ鑛山ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ鑛山監督局長ハ何時ニテモ坑内實測圖ノ複本ノ提出ヲ命シ又ハ其ノ提出期若ハ提出回数ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ差出シタル前期ノ坑内實測圖複本ハ請求ニ依リ之ヲ下附ス

第四十八條 鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

鑛業簿ノ複本ハ毎年六月末日及十二月末日迄ノ分ヲ各七月末日及一月末日迄ニ差出スヘシ

第四十九條 前二條ノ規定ニ依リテ調製シ若ハ差出スヘキ書類又ハ圖

面ハ探掘權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ探掘權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ調製シ若ハ差出スヘシ

第五十條 鑛業明細表ハ様式第十八號ニ準シテ之ヲ調製シ毎年一月末日迄ニ其ノ前年分ヲ差出スヘシ

第五十一條 前條ノ規定ニ依リテ差出スヘキ書類ハ鑛業權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ鑛業權ヲ有セシ者ニ於テ其ノ登録ノ日ヨリ三十日以内ニ差出スヘシ

第五十二條 前五條ノ規定ニ依リテ坑内實測圖若ハ鑛業簿ノ複本又ハ鑛業明細表ヲ差出スヘキ場合ニ於テ記載スヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十三條 二箇以上ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ニ於テハ第四十四條及第四十六條乃至第五十一條ノ書類又ハ圖面ハ合併シテ之ヲ調製スルコトヲ得

第五十四條 鑛業權者自ラ鑛業ヲ管理セサルトキハ鑛業代理人ヲ選任シ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

前項ノ代理人ハ鑛業法及鑛業法ノ施行ニ關スル命令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者ノ爲スヘキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者ハ其ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ヘシ

第五十五條 試掘權者ハ試掘工程表ヲ調製シテ一箇月毎ニ開坑ニ關スル狀況、鑛產物ノ數量、行業日數及工數ヲ記載スヘシ

第五十六條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ヲ處分セムトスルトキハ其ノ方法及數量ヲ記載シ鑛山監督局長ニ届出スヘシ

第五十七條 鑛業法第四十九條ノ規定ニ依ル實地調査ノ願書ニハ調査區域及其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附スヘシ

鑛山監督局長調査ヲ要スルモノト認メタルトキハ調査日數並之ニ要スル人夫及物品ノ豫定書ヲ調製シ出願人ニ交付スヘシ

出願人ハ人夫及物品ヲ準備シ現場ニ立會フヘシ

第五十八條 鑛業法第五十二條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲サムトスル者ハ土地ノ名稱、種目及其ノ目的ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第五十九條 鑛業法第五十三條ノ規定ニ依リテ障礙物ヲ除却セムトスル者ハ障礙物ノ種類、名稱、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱並豫定價額ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

第六十條 鑛業法第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ目的ヲ記載シテ出願スヘシ

前項ノ出願ハ電信ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

本條ノ出願ニ對シ電信ヲ以テ指令ヲ受ケムトスル者ハ土地ノ名稱、占有者ノ氏名又ハ名稱及立入り又ハ使用ノ目的ヲ記スルニ相當スル電信料ヲ前納スヘシ

第六十一條 鑛業法第五十二條乃至第五十四條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ニ立入り、之ヲ使用シ又ハ障礙物ヲ除却セムトスル者ハ鑛山監督局長ノ許可證ヲ携帯スヘシ

第六十二條 鑛業法第五十六條ノ規定ニ依リテ他人ノ土地ヲ使用セムトスル者ハ土地ノ名稱、種目、面積、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使

用ノ目的、時期及期間ヲ記載シタル願書ニ土地登記簿本、未登記ノ土地ニ付テハ土地臺帳謄本、關係地實測圖及工事設計書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第六十三條 鑛業權者鑛業法ノ規定ニ基キテ他人ノ土地ニ關スル權利ヲ取得シタルトキ、使用ヲ始メタルトキ、使用ヲ終リタルトキ又ハ使用セサルニ至リタルトキハ直ニ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

前項ノ權利取得ニ關スル届書ニハ土地ノ名稱、種目、面積、所有者ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期及期間並補償金及擔保ヲ記載スヘシ

第六十四條 (削除)

第六十五條 (削除)

第六十六條 (削除)

第六十七條 (削除)

第六十八條 鑛業法第九十條第一項又ハ第九十二條第一項ノ規定ニ依リ申請書ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル工事又ハ鑛床ノ關係圖並所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ト交渉シタル始末書ヲ添附スヘシ但シ交渉ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ以テ始末書ニ代フルコトヲ得

一 申請人ノ氏名又ハ名稱及住所  
二 所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所  
三 鑛業權ノ登録番號  
四 申請ノ目的及理由

鑛山監督局長前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ所有者及關係人



又ハ隣接鑛業權者ニ交付スヘシ  
所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者ハ申請書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ  
十四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘシ  
所有者及關係人又ハ隣接鑛業權者前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササ  
ルトキハ鑛山監督局長ハ申請書ノミニ依リテ裁決スルコトヲ得申請  
書ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ  
申請人第六條ノ規定ニ依ル命令ノ期限内ニ修正又ハ補充ヲ爲ササル  
トキハ申請書ヲ却下ス

裁決書ニハ理由ヲ附シテ鑛山監督局長之ヲ申請人、所有者及關係  
人、隣接鑛業權者ニ交付スヘシ

第六十九條 鑛業法第九十條第二項又ハ第九十二條第二項ノ規定ニ依  
ル訴願ニハ鑛山監督局長ノ與ヘタル裁決書ノ謄本ヲ添ヘテ差出スヘ  
シ  
前條ノ規定ハ前項ノ訴願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十條 鑛業法第八十九條、第九十條第二項、第九十一條及第九十  
二條第二項ノ規定ニ依リテ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シタル者ハ七日  
以内ニ其ノ旨ヲ鑛山監督局長ニ届出ヘシ

第七十一條 鑛業法第九十三條第二項ノ規定ニ基ク處分又ハ裁決ノ公  
示ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第三十九條ノ規定ニ依ル却下ニ付テハ  
鑛山監督局長ノ揭示場ニ揭示スルコトニ依リテ之ヲ爲ス

第七十二條 第二十六條、第二十七條、第四十條乃至第四十三條、第四  
十九條、第五十一條、第五十二條、第五十五條、第六十一條、第六十三  
條、第七十條、第八十一條、第八十六條及第八十七條ノ規定ニ違背シ  
タル者、第二十二條ノ第一項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ設計書

ヲ差出ササルトキ若ハ第二十二條第二項及第二十二條ノ第二項ノ  
規定ニ依ル命令ニ基キ提出シタル設計書ニ反シテ作業シタル者、第  
二十四條ノ規定ニ基ク指定ノ期日ニ立會ハス若ハ調査事項ノ説明ヲ  
爲ササル者、第三十七條第一項ノ規定ニ依ル命令ノ期間内ニ鑛區圖  
ヲ差出ササルトキ若ハ第三項ノ規定ニ違背シ期間内ニ登録税ヲ納メ  
サル者又ハ第九十條ノ規定ニ依ル扶助規則ヲ差出ササル者若ハ第八  
十九條ノ規定ニ依リ扶助規則ヲ改定セサル者ハ二十五圓以下ノ罰金  
ニ處ス

第七十三條 第五十四條ノ規定ニ依リテ鑛業代理人ヲ定メタル場合ニ  
ハ鑛業權者、法定代理人又ハ法人ニ適用スヘキ本則ノ罰則ハ之ヲ鑛  
業代理人ニ適用ス但シ其ノ權限ニ屬セサル事項ニ付テハ此ノ限ニ在  
ラス

第七十四條 本則ハ第七十二條ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ準用  
ス

附 則

第七十五條 本則ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十六條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ハ本  
則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第七十七條 鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務省令及農商務省告示ニ依  
リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本則中之ニ相當スル規定アル場合  
ニ於テハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十八條 本則施行前ニ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ニシテ鑛業法及  
本則中ニ別段ノ定ナキモノニ付テハ鑛業條例ノ施行ニ關スル農商務  
省令及農商務省告示ノ規定ヲ適用ス

第七十九條 鑛業條例第四十六條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル出願  
ニシテ抵當權者ノ承諾書ヲ添ヘタルモノニ付テハ鑛山監督局長ハ相  
當ノ期限ヲ附シテ抵當權ノ順位ニ關スル協定書ヲ差出サシムルコト  
ヲ得

第八十條 本則施行前ニ明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依リ  
テ鑛業總代人ト看做サレタル者ハ本則ノ規定ニ依リテ定メタル代表  
者ト看做ス

第八十一條 本則施行前ヨリ引續キ鑛業ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ  
十日以内ニ鑛區所在地又ハ其ノ附近ニ鑛業事務所ヲ定メ鑛山監督局  
長ニ届出ヘシ

第八十二條 本則施行前試掘ノ認可又ハ探掘ノ特許ヲ得タル者ニ付テ  
ハ第四十三條ノ期間ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八十三條 本則施行前ヨリ引續キ探掘ヲ爲ス者ハ明治三十八年十一  
月末日迄ニ第四十四條ノ規定ニ依リテ調整シタル施業案ヲ差出スヘ  
シ

第八十四條 明治三十二年農商務省令第三號ノ規定ニ依ル鑛業代理人  
ハ本則ノ規定ニ依ル鑛業代理人ト同一ノ權限ヲ委任セラレタルモノ  
ト看做ス

第八十五條 鑛業條例第四十八條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用スル  
者ハ本則施行ノ日ヨリ九十日以内ニ土地ノ名稱、種目及使用ノ目的  
ヲ記載シタル届書ニ關係地實測圖、工事設計書及使用ノ權利ヲ證ス  
ル書面ヲ添ヘテ差出スヘシ

夫使役規則中第六十四條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスル  
モノアルトキハ探掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定  
シテ許可ヲ受クヘシ

第八十七條 鑛業條例第七十條ノ規定ニ依リテ調整シタル鑛夫名簿中  
第六十五條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノアルトキ  
ハ本則施行ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ改定スヘシ

第八十八條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ  
三十日以内ニ第六十五條ノ規定ニ依リテ鑛夫名簿ヲ調整スヘシ

第八十九條 鑛業條例第七十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ得タル鑛夫救恤  
規則中第六十六條ニ規定シタル事項ニ付其ノ規定ヲ異ニスルモノア  
ルトキハ探掘權者ハ本則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ改定シテ許  
可ヲ受クヘシ但シ改定前ニ扶助ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ給與  
金額ハ第六十六條ニ定メタル最低額ヲ下ルコトヲ得ス

第九十條 本則施行前ヨリ引續キ試掘ヲ爲ス者ハ本則施行ノ日ヨリ三  
十日以内ニ第六十六條ノ規定ニ依リテ扶助規則ヲ差出シ許可ヲ受ク  
ヘシ

第九十一條 鑛業法第九十九條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附  
スヘシ  
一 事業ノ現狀ヲ詳記セル書類  
二 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ出願鑛物ヲ採取ス  
ルコトヲ證スル書類

第九十二條 鑛業法第二百十條ノ規定ニ依ル届書ニハ左ノ書類及圖面  
ヲ添附スヘシ



- 一 事業ノ現狀ヲ詳記セル書類
  - 二 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ鑛業法第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採取スルコトヲ證スル書類
  - 三 坑井ノ所在ヲ認知シ得ヘキ圖面
- 前項第三號ノ圖面ニハ左ニ掲クル事項ヲ明示スヘシ
- 一 所在地ノ名稱及種目
  - 二 不動基點並其ノ名稱及特徵
  - 三 坑井ト不動基點ト連結シタル測點間ノ方位及間數
- (様式略)

### ○狩獵法

大正七年四月二日  
法律第三十二號

(改正) 大正十一年法律第七十四號

- 第一條 狩獵鳥獸以外ノ鳥獸ハ之ヲ捕獲スルコトヲ得ス  
狩獵鳥獸ノ種類ハ主務大臣之ヲ定ム
- 主務大臣ハ特殊ノ狩獵鳥獸ノ保護蕃殖ノ爲必要ト認ムルトキハ區域ヲ定メ其ノ捕獲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得
- 第二條 狩獵鳥類ノ雛及鳥類ノ卵ハ主務大臣ノ定ムルモノヲ除クノ外之ヲ捕獲又ハ採取スルコトヲ得ス
- 第三條 狩獵鳥獸ハ狩獵免許ヲ受クルニ非サレハ主務大臣ノ定ムル銃器、網、竊繩、揆、鈎又ハ畏ヲ使用シテ之ヲ捕獲スルコトヲ得ス但シ

- 欄、柵其ノ他ノ圍障アル邸宅地域内ニ於テ銃器ヲ使用セスシテ捕獲スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 地方長官必要ト認ムルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前條ノ規定ニ依ル獵具ノ使用以外ノ方法ヲ以テスル狩獵鳥獸ノ捕獲ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得
- 第五條 狩獵免許ハ甲乙ノ二種トシ狩獵免狀ヲ下付ス  
甲種狩獵免狀ハ銃器ノ使用以外ノ方法ヲ以テ狩獵ヲ爲ス者ニ、乙種狩獵免狀ハ銃器ヲ使用シテ狩獵ヲ爲ス者ニ之ヲ下付ス
- 狩獵免狀ノ有効期間ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日迄トス但シ北海道ニ於テハ九月十五日ヨリ翌年四月十五日迄トス
- 主務大臣ハ特殊ノ狩獵鳥獸ノ保護蕃殖ノ爲必要ト認ムルトキハ前項ノ期間内ニ於テ特ニ其ノ狩獵ノ期間ヲ限定スルコトヲ得
- 前二項ノ期間内ニ非サレハ狩獵ヲ爲スコトヲ得ス
- 第六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ罰金ニ處セラレタル者ハ一年ヲ經過スルニ非サレハ狩獵免許ヲ受クルコトヲ得ス
- 第七條 未成年者、白痴者又ハ瘋癲者ハ乙種狩獵免許ヲ受クルコトヲ得ス
- 乙種狩獵免許ヲ受ケタル者白痴者又ハ瘋癲者ト爲リタルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スヘシ
- 第八條 狩獵免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムヘシ

一等 所得稅二百圓以上ヲ納ムル者又ハ其ノ家族 五十圓  
二等 所得稅ヲ納ムル者又ハ其ノ家族 三十圓

十五圓

- 三等 一等及二等以外ノ者
- 前項ノ免許稅ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ
- 第九條 主務大臣又ハ地方長官ハ鳥獸ノ保護蕃殖ノ爲又ハ土地所有者ノ出願其ノ他ノ事由ニ因リ必要ト認ムル場合ニ於テハ十年以内ノ期間ヲ定メ禁獵區ヲ設クルコトヲ得
- 第十條 地方長官ハ危險豫防ノ爲其ノ他必要ト認ムルトキハ銃獵禁止區域ヲ設クルコトヲ得
- 第十一條 左ニ掲クル場所ニ於テハ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス
  - 一 御獵場
  - 二 禁獵區
  - 三 公道
  - 四 公園
  - 五 社寺境内
  - 六 墓地
- 第十二條 學術研究又ハ有害鳥獸驅除ノ爲其ノ他特別ノ事由ニ因リ主務大臣又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前數條ノ規定ニ拘ラス鳥獸ヲ捕獲シ又ハ鳥類ノ卵ヲ採取スルコトヲ得
- 主務大臣又ハ地方長官前項ノ許可ヲ爲シタルトキハ許可證ヲ下付ス
- 第十三條 前條第一項ノ規定ニ依リ捕獲シタル鳥獸又ハ採取シタル鳥類ノ卵ハ之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス但シ警察官署ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十四條 國、道府縣、郡又ハ市町村ハ命令ノ定ムル所ニ依リ獵區ヲ設定スルコトヲ得

- 第十五條 爆發物、劇藥、毒藥、据銃又ハ危險ナル器具ハ陷穽ヲ使用シテ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス
- 第十六條 日出前若ハ日没後、市街其ノ他人家稠密ノ場所若ハ衆人聚集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ虞アル人畜、建物、汽車、電車若ハ艦船ニ向テ銃獵ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十七條 欄柵其ノ他ノ圍障又ハ作物アル土地ニ於テハ占有者、共同狩獵地ニ於テハ免許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ狩獵又ハ第十二條第一項ノ規定ニ依ル鳥獸ノ捕獲ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十八條 獵區ニ於テハ獵區設定者ノ承認ヲ得ルニ非サレハ狩獵又ハ第十二條第一項ノ規定ニ依ル鳥獸ノ捕獲ヲ爲スコトヲ得ス
- 第十九條 狩獵免許ヲ受ケタル者又ハ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者鳥獸ヲ捕獲シ又ハ鳥類ノ卵ヲ採取セムトスルトキハ狩獵免狀又ハ許可證ヲ携帯スヘシ
- 警察官吏、憲兵、森林官吏又ハ市町村長ハ前項ノ規定ニ依リ携帯スヘキ狩獵免狀若ハ許可證又ハ捕獲シタル鳥獸若ハ採取シタル鳥類ノ卵ヲ検査スルコトヲ得
- 第二十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ捕獲シタル鳥獸又ハ採取シタル鳥類ノ卵ハ之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス
- 第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
  - 一 第三條、第十一條、第十五條又ハ第十六條ノ規定ニ違反シタル者
  - 二 詐欺ノ行爲ヲ以テ狩獵免許又ハ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者
- 第三條又ハ第十五條ノ規定ニ違反スル犯罪ノ用ニ供シタル物件及其



ノ犯罪ニ因リテ得タル獵獲物ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノハ之ヲ沒收ス

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ第十七條ノ規定ニ違反シタル罪ハ占有者又ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

一 第一條第一項、第二條、第五條第五項、第十三條、第十七條、第十八條又ハ第二十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第一條第三項ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者

三 銃獵禁止區域ニ於テ銃獵ヲ爲シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ第十九條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミタル者

五 狩獵免狀又ハ第十二條第二項ノ許可證ヲ他人ニ使用セシメタル者

第二十三條 御獵場、禁獵區、銃獵禁止區域、獵區又ハ共同狩獵地ノ標識ヲ移轉、汚損、毀壞又ハ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十四條 狩獵免許又ハ第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ罰金ニ處セラレタルトキハ其ノ狩獵免許又ハ許可ハ效力ヲ失フ

第二十五條 第十九條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第二十六條 本法中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス

本法中市町村又ハ市町村長トアルハ市制又ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノトス

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年八月勅令第三八一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

第二十八條 明治三十年法律第七號ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 舊法ニ依リ爲シタル許可ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル舊法ニ依リ設ケタル禁獵區又ハ銃獵禁止ノ區域ハ之ヲ本法ニ依リ設ケタル禁獵區又ハ銃獵禁止區域ト看做ス

第三十條 本法施行前爲シタル共同狩獵地ノ免許ハ仍其ノ效力ヲ有ス前項免許ノ期間ハ申請ニ因リ之ヲ更新スルコトヲ得

第三十一條 狩獵免許ヲ受ケタル者舊法第二十一條乃至第二十三條ノ規定ニ依リ處罰セラレタルトキハ其ノ狩獵免許ハ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ一年ヲ經過スルニ非サレハ狩獵免許ヲ受クルコトヲ得ス

○狩獵法施行規則

大正八年八月十六日農商務省令第二十八號

(改正)

大正十年農商務省令第三號、十一年同令第十九號、十二年同令第二十二號、十四年農林省令第三十號、十五年同令第二十二號、昭和三年同令第七號、五年同令第七號

第一條 狩獵鳥獸ノ種類左ノ如シ

あはうどり トラ づら くらまき  
あをさき づら づら づら  
あなぐま づら づら づら  
しか たぬき てん  
むささび りす

第三條 農林大臣狩獵法第一條第三項ノ規定ニ依リ第一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル鳥獸以外ノ狩獵鳥獸ノ捕獲ヲ禁止又ハ制限シタルトキハ鳥獸ノ名稱、禁止又ハ制限シタル獵法、期間及區域ヲ告示スヘシ地方長官狩獵法第四條ノ規定ニ依リ狩獵鳥獸ノ捕獲ヲ禁止又ハ制限シタルトキ亦前項ニ同シ

第四條 狩獵法第三條ノ規定ニ依ル獵具左ノ如シ

- 一 銃器 裝藥銃其ノ他瓦斯力ニ依リ彈丸ヲ發射スル銃器、散彈ヲ使用シ得ヘキ空氣銃、刳抜銃身ノ空氣銃及引抜銃身ノ空氣銃(銃身ニ引抜管ヲ使用シタルモノ)
  - 二 網 アミ、カスミアミ、ムソウ、羅罟、霞網其ノ他ノ張網、突網及投網
  - 三 網 網、流網及張網
  - 四 罾 ハコ、マカ、センボン、ハコ、高掬及千本掬
  - 五 鉤 ツリバリ、ナガシバリ、流鉤
  - 六 罾 ククリワナ、ハコワナ、ハコオシ、オシトラ、バサミ、ワナ、括罾、箱罾、箱落、壓及虎挾
- 第五條 狩獵免許ヲ受ケムトスル者ハ地方長官ニ出願シ狩獵免狀ノ下付ヲ受ケヘシ
- 前項ノ願書ニハ左ノ事項ヲ記載シ一等免狀ヲ受ケムトスル者ヲ除クノ外狩獵法第八條第一項ニ定ムル稅額ニ關スル證明書ヲ添付スヘシ
- 一 免許ノ種類及等級
  - 二 出願者ノ身分、職業、氏名、住所及生年月日

ノ犯罪ニ因リテ得タル獵獲物ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノハ之ヲ沒收ス

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ第十七條ノ規定ニ違反シタル罪ハ占有者又ハ共同狩獵地ノ免許ヲ受ケタル者ノ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

一 第一條第一項、第二條、第五條第五項、第十三條、第十七條、第十八條又ハ第二十條ノ規定ニ違反シタル者

二 第一條第三項ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者

三 銃獵禁止區域ニ於テ銃獵ヲ爲シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ第十九條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミタル者

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年八月勅令第三八一號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

第二十八條 明治三十年法律第七號ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 舊法ニ依リ爲シタル許可ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル舊法ニ依リ設ケタル禁獵區又ハ銃獵禁止ノ區域ハ之ヲ本法ニ依リ設ケタル禁獵區又ハ銃獵禁止區域ト看做ス

第三十條 本法施行前爲シタル共同狩獵地ノ免許ハ仍其ノ效力ヲ有ス前項免許ノ期間ハ申請ニ因リ之ヲ更新スルコトヲ得

第三十一條 狩獵免許ヲ受ケタル者舊法第二十一條乃至第二十三條ノ規定ニ依リ處罰セラレタルトキハ其ノ狩獵免許ハ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ一年ヲ經過スルニ非サレハ狩獵免許ヲ受クルコトヲ得ス



三 狩獵法又ハ本則ノ規定ニ依リ罰金ニ處セラレタルコトノ有無及罰金ニ處セラレタルコトアルトキハ其ノ年月日

第六條 狩獵法第八條第二項ノ收入印紙ハ之ヲ前條ノ願書ニ貼附シ消印ヲ爲サシテ差出スヘシ

第七條 狩獵法第十二條第一項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ飼養又ハ有害鳥獸ノ驅除ヲ目的トスル場合ニ於テハ地方長官ニ、其ノ他ノ場合ニ於テハ農林大臣ニ出願シ鳥獸捕獲許可證ノ下付ヲ受クヘシ

前項ノ願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 出願者ノ職業、氏名、住所及生年月日
- 二 捕獲スヘキ鳥獸又ハ採取スヘキ卵ノ種類及員數
- 三 捕獲又ハ採取ノ目的、期間、區域及方法並學術研究ヲ目的トスルモノニ在リテハ研究ノ事項及方法

狩獵法第十一條ニ掲ケル場所又ハ獵區内ニ於テ鳥獸ヲ捕獲シ若ハ卵ヲ採取セムトスル場合ニ於テハ前項ノ外其ノ旨ヲ記載スヘシ

第八條 狩獵免許又ハ狩獵法第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者其ノ住所若ハ氏名ヲ變更シタルトキハ二週内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

新住所地カ他ノ地方長官ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ期間内ニ免許ノ種類及等級並身分、職業、氏名、住所及生年月日ヲ新住所地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

第九條 狩獵免狀又ハ鳥獸捕獲許可證ノ下付ヲ受ケタル者之ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シ遲滞ナク當初之ヲ下付シタル官廳ニ届出ツヘシ

れんじやく もず ごじふから しじふから  
 やまがら ひがら こがら えなが  
 ほしがらす るりかけす をなが むくどり  
 めじろ

前項ノ受渡簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 讓受ケタル鳥類ノ種類及員數、讓渡人ノ職業、氏名、住所及其ノ捕獲者ナリヤ否ヤノ別並讓受ノ年月日
- 二 讓渡シタル鳥類ノ種類、員數及讓渡ノ年月日
- 三 前二號以外ノ事由ニ因ル鳥類ノ員數ノ異動、其ノ事由及年月日
- 四 鳥類ノ員數ノ異動アリタル日ニ於ケル鳥類ノ種類別差引現在員數

第十一條ノ三 地方長官ハ鳥獸又ハ獵具ノ地方名稱ニシテ第一條、第二條、第四條又ハ前條ノ施行ノ爲必要ト認ムルモノハ之ヲ告示スヘシ

第十二條 禁獵區ハ御料地又ハ國有地ヲ其ノ區域トセス且其ノ區域ニ府縣以上ニ亘ラサル場合ニ於テハ地方長官、其ノ他ノ場合ニ於テハ農林大臣之ヲ設ク

農林大臣必要ト認ムルトキハ前項前段ノ場合ニ於テモ禁獵區ヲ設クルコトヲ得

第十三條 農林大臣又ハ地方長官禁獵區ヲ設ケタルトキハ其ノ區域及存續期間ヲ告示スヘシ禁獵區ヲ廢止シ又ハ其ノ區域若ハ存續期間ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十四條 農林大臣又ハ地方長官ハ禁獵區ヲ表示スル爲其ノ周圍ノ隅

前項ノ届出アリタルトキハ農林大臣又ハ地方長官ハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第十條 狩獵免狀又ハ鳥獸捕獲許可證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ再渡ヲ請求スルコトヲ得

狩獵免狀ノ再渡ヲ受ケムトスル者ハ收入印紙ヲ以テ手数料金二圓ヲ納ムヘシ

第十一條 狩獵免狀又ハ鳥獸捕獲許可證ノ下付ヲ受ケタル者ハ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ三十日内ニ當初之ヲ下付シタル官廳ニ之ヲ返納スヘシ

前項ノ規定ニ依リ狩獵免狀ヲ返納スル場合ニ於テハ其ノ捕獲シタル鳥獸ノ道府縣別種類別員數ヲ、鳥獸捕獲許可證ヲ返納スル場合ニ於テハ其ノ捕獲シタル鳥獸又ハ採取シタル卵ノ種類別員數及其ノ處置ヲ届出ツヘシ

前項ノ規定ハ失効前ノ狩獵免狀又ハ鳥獸捕獲許可證ヲ返納スル場合ニ付之ヲ準用ス

第十一條ノ二 飼鳥ノ賣買ヲ業トスル者ハ左ノ鳥類ニ關スル受渡簿ヲ備ヘ其ノ閉鎖ノ時ヨリ五年間之ヲ保存スヘシ

をしどり くわくこう ほととぎす かはせみ  
 みみづく ふくろうら きつつき ありすひ  
 ひばり せきれい びんずい たひばり  
 ひたき るり とらつぐみ くらつぐみ  
 あかはら まみじろ いそひよどり あかひげ  
 こまどり のごま よしきり せつか  
 うぐひす めぼそ き、いただき みそさざい

角及見易キ場所ニ百二十間ヲ超エサル間隔ヲ以テ木標ヲ設クヘシ但シ土地ノ状況ニ依リ其ノ區域分明ナル場合ニ於テハ木標ノ間隔ヲ延長シ又ハ制札ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

土地所有者ノ出願ニ依リ設ケタル禁獵區ニ付テハ農林大臣又ハ地方長官ハ出願者ヲシテ前項ノ木標又ハ制札ヲ設ケシムルコトヲ得

第十五條 地方長官ハ銃獵禁止區域ヲ表示スル爲其ノ場所ニ制札ヲ設クヘシ

第十六條 獵區ノ存續期間ハ二十年以内トス

前項ノ期間ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ更新スルコトヲ得

第十七條 獵區ハ三百町歩以上ノ面積タルコトヲ要ス但シ農林大臣ニ於テ特別ノ事由アリト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 獵區ハ其ノ区域内ノ土地ノ上ニ登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ設定スルコトヲ得ス

第十九條 獵區設定者第二十四條及第二十六條ノ規定ニ依リ狩獵者ノ員數ヲ制限シタル場合ニ於テ狩獵法第十八條ノ規定ニ依リ狩獵ノ承認ヲ受ケムトスル者ノ員數其ノ制限ヲ超過シタルトキハ抽籤ノ方法ニ依ルニ非サレハ狩獵者ヲ定ムルコトヲ得ス

第二十條 獵區設定者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外狩獵法第十二條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ狩獵法第十八條ノ規定ニ依ル承認ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十一條 獵區設定者狩獵法第十八條ノ規定ニ依ル承認ヲ爲シタルトキハ承認證ヲ交付スヘシ

第二十二條 獵區設定者ハ狩獵法第十八條ノ規定ニ依ル承認ヲ受クル



者ヲシテ承認料ヲ納付セシムルコトヲ得  
前項ノ承認料ハ一日ニ付五圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ規定ハ狩獵法第十二條第一項ノ許可ヲ受ケ學術研究又ハ有害鳥獸驅除ノ爲鳥獸ノ捕獲ヲ爲ス者ニ對シテハ之ヲ適用セス

第二十三條 獵區内ニ於テ狩獵又ハ狩獵法第十二條第一項ノ規定ニ依ル鳥獸ノ捕獲ヲ爲サムトスルトキハ第二十一條ノ承認證ヲ携帶スヘシ

第二十四條 獵區設定者ハ狩獵日、狩獵者ノ員數又ハ狩獵者ニ對シ其ノ捕獲スヘキ鳥獸ノ種類及員數、獵具、獵法、捕獲區域其ノ他狩獵ニ關スル制限ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 獵區ヲ設定セムトスル者ハ入獵規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ差出シ農林大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

一 獵區ノ名稱

二 獵區ト爲サムトスル土地ノ地目別面積、水面ノ面積及其ノ面積三百町歩ニ滿タサルトキハ其ノ事由

三 獵區ノ存續期間

四 獵區ト爲サムトスル區域ニ於ケル過去一年ノ季節別鳥獸棲息狀況及其ノ以前ニ於ケル概況

五 一狩獵期間當ノ月別狩獵者甲、乙種別及捕獲鳥獸種類別見込數

六 鳥獸ノ保護繁殖ヲ爲スヤ否ヤノ別及之ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ方法

七 獵區内ニ棲息スル鳥獸ニ因ル損害ノ補償ニ關スル事項

八 獵區設定ニ要スル費用及一年當收支概算

九 第二十二條第二項但書ノ規定ニ依ル承認料ヲ納付セシムルモノニ在リテハ其ノ事由

十 管理者又ハ巡守ヲ置クヤ否ヤノ別及之ヲ置クモノニ在リテハ其ノ員數

前項ノ書面ニハ獵區ノ區域及位置ヲ示ス圖面、第十八條ノ同意ヲ證スル書面並獵區設定ニ關スル決議ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

獵區設定者第一項第三號、第六號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ差出シ農林大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十六條 入獵規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 事務所ノ位置

二 獵區ノ區域

三 第二十四條ノ規定ニ依ル制限

四 入獵申込ノ手續

五 第十九條ノ規定ニ依ル抽籤ノ方法

六 入獵承認ノ通知方法

七 第二十二條ノ規定ニ依ル承認料及其ノ納付ノ方法

八 承認證ノ交付、携帶及提示ニ關スル事項

九 案内者又ハ勢子ヲ置クモノニ在リテハ之ニ關スル事項

十 入獵者、其ノ從者、獵區管理者、巡守、案内者又ハ勢子ニ徽章ヲ佩用セシムルモノニ在リテハ其ノ旨及雛形

十一 退獵ノ手續

十二 入獵規程違反者ニ對スル處置

獵區設定者前項第二號、第三號、第五號、第七號、第九號又ハ第十號ノ事項ヲ變更シ又ハ新ニ設ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ差出シ農林大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

前條第一項第二號、第四號、第五號、第八號及第二項ノ規定ハ第一項第二號ノ事項ヲ變更セムトスル場合ニ於ケル認可ノ申請ニ付之ヲ準用ス

第二十七條 第十六條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ申請セムトスルトキハ更新ノ期間ヲ定メ申請書ニ第十八條ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ期間満了ノ日ヨリ三月前ニ之ヲ農林大臣ニ差出スヘシ

第二十八條 入獵規程ヲ變更シタルトキハ第二十六條第二項ニ掲ケル事項ニ關スルモノヲ除クノ外遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ツヘシ第二十五條第一項第一號又ハ第十號ノ事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十九條 農林大臣獵區ノ設定又ハ其ノ存續期間ノ更新ノ認可ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ告示スヘシ告示シタル事項ニ付變更ヲ生シタルトキ亦同シ

一 獵區ノ名稱

二 事務所ノ位置

三 獵區ノ區域

四 獵區ノ存續期間

五 承認料

六 狩獵ニ關スル制限

第三十條 獵區設定者ハ其ノ獵區ニ管理者又ハ巡守ヲ置クコトヲ得獵區設定者管理者又ハ巡守ヲ置キタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ農林大臣ニ届出テ且證票ヲ携帶セシムヘシ

第三十一條 獵區管理者又ハ巡守ハ何時ニテモ獵區内ニ於テ鳥獸ヲ捕獲シ又ハ鳥類ノ卵ヲ採取スル者ニ對シ第二十一條ノ承認證ノ提示ヲ求ムルコトヲ得

第三十二條 獵區設定者ハ獵區ノ區域ヲ表示スル爲必要ナル標識ヲ設クヘシ

第三十二條ノ二 獵區設定者ハ前年四月十六日ヨリ其ノ年四月十五日迄ノ間ニ於ケル獵區ノ成績ヲ様式第一號及第二號ニ依リ毎年四月三十日迄ニ農林大臣ニ報告スヘシ

第三十二條ノ三 獵區設定者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間狩獵ノ停止ヲ爲スコトヲ得

前項ノ期間ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

前二項ノ認可ヲ爲シタルトキハ農林大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十三條 獵區設定者獵區ヲ廢止セムトスルトキハ廢止ノ日ヨリ三十日前ニ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ農林大臣ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十四條 農林大臣必要ト認ムルトキハ獵區設定者ニ對シ獵區設定ノ認可ヲ取消シ第二十五條第一項第三號、第六號、第七號、第十號ノ事項又ハ入獵規程ノ變更、有害鳥獸ノ驅除、一定ノ期間ノ狩獵ノ停止ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得



農林大臣獵區設定ノ認可ヲ取消シ又ハ狩獵ノ停止ヲ命シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十五條 第九條第一項、第十一條又ハ第十一條ノ二ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第三十六條 本則ニ依リ農林大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

第三十七條 本則中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス

第三十八條 本則ハ狩獵法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正八年九月一日ヨリ施行)

第三十九條 共同狩獵地ノ免許期間ノ更新ヲ申請セムトスル者ハ其ノ更新ノ期間ヲ定メ申請書ニ區域内ノ土地所有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ期間満了ノ日ヨリ三月前ニ之ヲ農林大臣ニ差出スヘシ

第四十條 共同狩獵地ニ付テハ前條ノ外仍從前ノ例ニ依ル

第四十一條 禁獵區及銃獵禁止區域ノ木標又ハ制札ニシテ本則施行前設ケタルモノハ本則ニ依リ之ヲ設ケタルモノト看做ス

大正十四年農林省令第二十四號附則

本令ハ大正十四年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ第四條第一號申判裁銃身ノ空氣銃ニ關スル規定ハ大正十九年四月十五日迄、第十一條ノ二ノ規定ハ大正十四年十一月三十日迄之ヲ適用セス

飼鳥ノ賣買ヲ業トスル者第十一條ノ二ニ掲グル鳥類ヲ飼養スルトキハ同條ノ規定ニ依ル受渡簿ニ其ノ鳥類ノ大正十四年十一月三十日現在ノ種類別員數ヲ記載スヘシ

本令施行ノ際現ニ存スル獵區ノ設定者ハ大正十四年十二月十五日迄ニ

入獵規程及第二十五條第一項第七號ノ事項ヲ定ムルモノニ在リテハ之ヲ記載シタル書面ヲ差出シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

獵區ニ於ケル狩獵ノ制限ニシテ本令施行ノ際現ニ效力ヲ有スルモノハ入獵規程ニ付前項ノ認可アル迄仍其ノ效力ヲ有ス

昭和六年三月三十一日 法律第三十六號

### 國立公園法

第一條 國立公園ハ國立公園委員會ノ意見ヲ聽キ區域ヲ定メ主務大臣之ヲ指定ス

第二條 本法ニ於テ國立公園計畫ト稱スルハ國立公園ノ保護又ハ利用ニ關スル統制及施設ノ計畫ヲ謂フ

計畫ニ基キ執行スベキ事業ニシテ道路、廣場、苑地、運動場、野營場、宿舍其ノ他命令ヲ以テ指定スル施設ニ關スルモノヲ謂フ

第三條 國立公園計畫及國立公園事業ハ國立公園委員會ノ意見ヲ聽キ主務大臣之ヲ決定ス

第四條 國立公園事業ハ行政官廳之ヲ執行ス

主務大臣特別ノ事由アリト認ムルトキハ公共團體ヲシテ國立公園事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

行政官廳又ハ公共團體ニ非ザル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ特許ヲ受ケ國立公園事業ノ一部ヲ執行スルコトヲ得

第五條 國立公園事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場

合ニ在リテハ國庫、公共團體ヲシテ之ヲ執行セシムル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政官廳又ハ公共團體ニ非ザル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

行政官廳國立公園事業ヲ執行スル場合ニ於テ主務大臣特別ノ事由アリト認ムルトキハ其ノ執行ニ要スル費用ノ一部ヲ公共團體ヲシテ負擔セシムルコトヲ得

行政官廳ニ非ザル者國立公園事業ヲ執行スル場合ニ於テ國庫ハ其ノ費用ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

第六條 國立公園事業ノ執行ニ依リ生ジタル施設ハ其ノ事業ヲ執行シタル者之ヲ管理ス

主務大臣特別ノ事由アリト認ムルトキハ公共團體ヲ指定シテ行政官廳ノ執行スル國立公園事業ニ依リ生ジタル施設ノ管理ヲ爲サシムルコトヲ得

前二項ノ規定ハ他ノ法律ニ依リ管理者ヲ定メタル場合ニハ之ヲ適用セス

第一項及第二項ノ規定ニ依ル管理ノ費用ハ行政官廳之ヲ管理スル場合ニ在リテハ國庫、公共團體之ヲ管理スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政官廳又ハ公共團體ニ非ザル者之ヲ管理スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

第七條 行政官廳又ハ公共團體ノ管理スル國立公園ノ施設ニ付占用又ハ使用ヲ許可スルトキハ其ノ管理者ハ占用料又ハ使用料ヲ徵收スルコトヲ得但シ前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ヲ除ク

前項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ徵收金ハ國稅徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵

收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第八條 主務大臣ハ國立公園ノ風致維持ノ爲國立公園計畫ニ基キ其ノ區域内ニ特別地域ヲ指定スルコトヲ得

特別地域内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行為ヲ爲サントスル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セズト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 工作物ノ新築、改築又ハ増築

二 水面ノ埋立又ハ干拓

三 鐵物ノ試掘若ハ探掘、砂鑛ノ採取又ハ土石ノ探掘

四 木竹ノ伐採

五 廣告物、看板其ノ他之ニ關スル物件ノ設置

特別地域内ノ山林ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地租其ノ他ノ公課ヲ免除スルコトヲ得

第九條 主務大臣ハ國立公園ノ保護又ハ利用ノ爲必要アリト認ムルトキハ其ノ區域内ニ於テ一定ノ行為ヲ禁止若ハ制限シ又ハ必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ一定ノ行為ヲ禁止セラレ又ハ措置ヲ命ゼラレタルガ爲損害ヲ被リタル私人ニ對シテハ通常生ズベキ損害ニ限り國庫之ヲ補償ス

勅令ノ定ムル所ニ依リ國庫ハ第一項ノ規定ニ依リ一定ノ行為ヲ著シク制限セラレタル爲損害ヲ被リタル私人ニ對シ其ノ損害ヲ補償スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル補償金額ハ主務大臣之ヲ決定ス其ノ決定ニ對シ



テ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴訟願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ズ

第十條 主務大臣ハ第八條第二項ノ規定、同條同項ノ許可ニ附シタル條件又ハ前條第一項ノ命令若ハ處分ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 國立公園ニ關シ實地調査ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ障礙物ヲ除却スルコトヲ得但シ行政官廳ニ於テハ地方長官ニ通知シテ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ旨ヲ土地ノ所有者及占有者ニ通知スベシ

第一項ノ場合ニ於テ通常生ズベキ損害ハ同項但書ノ場合ヲ除クノ外其ノ行爲ヲ爲シタル者之ヲ補償スベシ

前項ノ規定ニ依ル補償金額ニ付協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ許可ヲ爲シタル地方長官之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ對シテ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴訟願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ズ

第一項但書ノ場合ニ於テ通常生ズベキ損害ハ國庫之ヲ補償ス

第九條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條 國立公園委員會ノ組織及權限ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

政廳ニ於テ爲サントスルトキハ内務大臣ニ通知スベシ

### ○國立公園法施行規則(抄)

昭和六年九月十九日  
內務省令第二十五號

第十七條 國立公園法第八條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ具シ内務大臣ニ申請スベシ

一 設計書又ハ施行方法書

二 行爲ノ種類ニ從ヒ設計又ハ施行方法ノ表示ニ必要ナル圖面設計書又ハ施行方法書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 行爲ノ種類

二 行爲ノ目的

三 行爲地ノ所在、地目、地番及面積

四 行爲ノ種類ニ從ヒ工作物(廣告物、看板其ノ他之ニ關スル物件ヲ含ム)ノ設計又ハ行爲ノ施行方法

五 著手及完了ノ期日

第一項ノ書類又ハ圖面ニ記載セル事項ヲ變更セントスルトキハ内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十八條 左ニ掲グル行爲ハ國立公園法第八條第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受クルコトヲ要セズ

- 一 井溝、井堰、水樋、水車、風車、水槽等ノ新築、改築又ハ増築
- 二 門、生垣、圍牆、圍舍、禽舍等ノ新築、改築又ハ増築
- 三 社寺境内地又ハ墓地ニ於ケル鳥居、燈籠、墓碑等ノ新築、改築

第十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴訟願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴訟願スルコトヲ得ズ

第十四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十五條 第八條第二項ノ規定、同條同項ノ許可ニ附シタル條件又ハ第九條第一項ノ命令若ハ處分ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十六條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和六年九月勅令第二四一號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

### ○國立公園法施行令(抄)

昭和六年九月十八日  
勅令第二百四十二號

第十六條 國立公園法第八條又ハ第九條ノ規定ニ基キ内務大臣ノ許可ヲ受クベキ行爲ヲ行政廳ニ於テ爲サントスルトキハ内務大臣ニ協議ヲ爲スベシ

國立公園法第九條ノ規定ニ基キ内務大臣ニ届出ヲ爲スベキ行爲ヲ行

又ハ増築

四 炭竈、炭燒小屋、伐木小屋、造林小屋、畜舍、納屋、肥料溜等ニシテ公道其ノ他公衆ノ自由ニ出入シ得ル場所ヨリ二十メートル以上ノ距離ヲ有スルモノノ新築、改築又ハ増築

五 舩、筏、網納屋、漁具干場等ノ新築、改築又ハ増築

六 工事用假工作物(宿舍ヲ除ク)ノ新築、改築又ハ増築

七 宅地内ニ於ケル土石ノ採掘

八 地貌ノ變化ヲ來サザル土石ノ採掘

九 宅地内ニ於ケル木竹ノ伐採

十 家用ノ爲ニスル木竹ノ擇伐(塊狀擇伐ヲ除ク)

十一 桑、茶、楮、三椏、杞柳、桐、果樹其ノ他農業用栽培木竹ノ伐採

十二 枯損木竹又ハ危險木竹ノ伐採

十三 森林保育ノ爲ニスル刈、蔓切又ハ間伐

十四 牧野改良ノ爲ニスル荆棘、灌木等ノ除去

十五 軒下ニ於ケル廣告物、看板其ノ他之ニ關スル物件ノ設置

十六 非常災害ノ爲必要ナル應急處置

十七 施業計畫ニ付豫メ内務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ施業計畫ニ基ク行爲

十八 特別地域指定ノ際既ニ著手セル行爲

第十九條 特別地域内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サントスル者ハ其ノ行爲ノ日ヨリ十四日以前ニ内務大臣ニ届出ツベシ

一 開墾其ノ他土地ノ形質ノ變更



- 二 木竹ノ植栽
- 三 家畜ノ放牧
- 第二十條 左ニ掲グル行爲ハ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要セズ
  - 一 土地ノ掘鑿、切取、盛土等土地ノ形質ノ變更ニシテ地貌ノ變化ヲ來サザルモノ
  - 二 宅地内ニ於ケル木竹ノ植栽
  - 三 農業用栽培木竹ノ植栽
  - 四 現存木竹ト同一種類ノ木竹ノ植栽
  - 五 施業計畫ヲ豫メ内務大臣ニ届出タルトキハ其ノ施業計畫ニ基ク行爲
  - 六 特別地域指定ノ際既ニ著手セル行爲
- 第二十一條 國立公園法第八條第一項ノ規定ニ依リ特別地域ニ指定セラレザル國立公園内ノ地域ハ之ヲ普通地域トス
  - 普通地域内ニ於テ國立公園法第八條第二項各號ノ一ニ該當スル行爲ヲ爲サントスル者ハ其ノ行爲ノ日ヨリ十四日以前ニ内務大臣ニ届出ツベシ
- 第二十二條 左ニ掲グル行爲ハ前條第二項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要セズ
  - 一 第十八條第一號乃至第十六號各號ノ一ニ該當スル行爲
  - 二 施業計畫ヲ豫メ内務大臣ニ届出タルトキハ其ノ施業計畫ニ基ク行爲
  - 三 國立公園指定ノ際既ニ著手セル行爲
- 第二十三條 第十九條又ハ第二十一條第二項ノ規定ニ依ル届出書ニハ

### ○司法警察職務規程

大正十二年十二月司法省刑  
事局刑事第一〇〇九二號

司法警察官吏  
司法警察官吏ノ職務ヲ行フ者

司法警察職務規程別冊ノ通相定メ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ行フ  
右訓令ス

(別冊)

#### 第一章 總 則

- 第一條 司法警察ノ職ニ在ル者犯罪ノ捜査其ノ他ノ職務ヲ行フニハ法令ノ定ムル所ヲ恪守スルノ外本規程ニ遵由スヘシ
- 第二條 司法警察ノ職務ヲ行フニハ法令ノ字句ニ拘泥スルコトナク克ク其ノ精神ニ適合セムコトヲ期スヘシ
- 第三條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ外議ニ動カサレ私情ニ泥マヌ專ラ公明正大ヲ旨トシ非違ヲ匡正スルノ任務ヲ全ウセムコトヲ期スヘシ
- 第四條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ居常言行ヲ慎ミ廉潔公正世人ノ疑惑ヲ招カサルコトニ注意スヘシ
- 第五條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ平素社會ノ變遷人心ノ趨向ニ留意シ

- 犯罪ニ關スル諸般ノ現象ヲ攷究シ其ノ職責ヲ盡スニ遺憾ナキコトヲ期スヘシ
- 第六條 司法警察ノ職務ヲ行フニハ敏活ニシテ機宜ヲ失ハス周密ニシテ遺漏ナキコトヲ期スヘシ
- 第七條 司法警察ノ職務ヲ行フニハ冷靜ニシテ感情ニ走ラス常ニ中正穩健ヲ旨トスヘシ
- 第八條 司法警察ノ職務ヲ行フニハ道義ヲ尊ヒ人情ヲ重シ淳風良俗ヲ害セサルコトニ注意スヘシ
- 第九條 司法警察ノ職務ヲ行フニハ秘密ヲ嚴守シテ捜査ノ障礙ト犯行ノ傳播トヲ防止シ且被疑者其ノ他ノ者ノ名譽ヲ毀損セサルコトニ注意スヘシ
- 第十條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ互ニ連絡協調ヲ保チ共同一致ノ精神ヲ以テ事ニ從フヘシ
- 第十一條 司法警察ノ職務ハ必要アル場合ニ於テハ執務時間ノ内外ヲ問ハス夜間又ハ休日ト雖之ヲ行フヘキモノトス
- 第十二條 司法警察ノ職ニ在ル者他ノ司法警察ノ職ニ在ル者ヨリ其ノ管轄區域内ニ於テ取扱フヘキ事項ニ付共助ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ニ應ジ遲滞ナク處理スヘシ
- 第十三條 司法警察ノ職務ハ共助ニ依リ事實發見ノ目的ヲ達スルニ不便ナルトキニ限り管轄區域外ニ於テ之ヲ行フコトヲ得
- 第十四條 書類ヲ作成スルニハ文飾ヲ用キス簡明平易ヲ旨トシ眞實ヲ失ハサルコトニ注意スヘシ
- 第十五條 書類ヲ作成スルニハ法律ニ定メタルモノニ非スト雖年月日

- ヲ記載シテ署名捺印シ毎葉ニ契印シ其ノ所屬ノ官署ヲ表示スヘシ  
文字ハ之ヲ改竄スヘカラス挿入削除又ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印シ其ノ字數ヲ記載スヘシ但シ削除シタル部分ハ之ヲ讀得ヘキ爲其ノ字體ヲ存スヘシ
- 第十六條 被疑者其ノ他ノ關係者ノ陳述ヲ錄取シタルトキハ法律ニ定メタル書類ニ非スト雖之ヲ陳述者ニ讀聞カセ又ハ閱覽セシメ其ノ記載ノ相違ナキカ否ヲ問フヘシ
- 陳述者増減變更ヲ申立テタルトキハ其ノ趣旨ヲ記載スヘシ
- 書類ニハ陳述者ヲシテ任意ニ署名捺印セシムヘシ陳述者署名スルト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記シ捺印スルト能ハサルトキハ花押又ハ捺印セシムヘシ
- 第十七條 司法警察ノ職ニ在ル者被疑者又ハ被害者ト親族其ノ他ノ關係ニ因リ他ノ疑惑ヲ招クヘキ虞アルトキハ回避スヘシ
- 第十八條 司法警察ノ職ニ在ル者其ノ職務ヲ行フニ當リ被疑者其ノ他ノ關係者ノ求アルトキハ官氏名ヲ表示シタル證據ヲ示スヘシ但シ警察官、憲兵ノ將校准士官下士、巡查及憲兵卒制服ヲ着用スル場合ニ於テハ官氏名ヲ告グルヲ以テ足ル
- 第二章 捜査機關
- 第十九條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ檢事ノ指揮命令ニ從ヒ捜査ノ事ニ膺ルヘシ
- 第二十條 警視總監、地方長官(東京府知事ヲ除ク)及憲兵司令官ノ捜査ノ權ハ異常ノ場合ニ於テ之ヲ行フヲ例トス此ノ場合ニ於テモ成ルヘク其ノ處分ヲ檢事ニ讓ルヘシ



第二十一條 司法警察官ノ職務ヲ行フ者ハ其ノ職務ノ範圍ニ屬スル被疑事件ニシテ犯罪ノ性質、場所ノ關係又ハ其ノ他ノ事情ニ因リ司法警察官其ノ職務ヲ行フニ不便ナル場合ニ於テ捜査ヲ爲スヘキモノトス

前項ノ場合ニ於テハ捜査ニ著手シタル司法警察官ノ職務ヲ行フ者ニ於テ捜査ヲ遂行スヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ司法警察官ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第二十二條 司法警察官ノ職務ヲ行フ者其ノ職務ノ範圍ニ屬スル被疑事件ヲ司法警察官ニ先チ覺知シタルトキハ前條ノ場合ニ非スト雖速ニ捜査ニ著手シタル上司法警察官ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ司法警察官職務ヲ行フニ至リタルトキハ之ニ讓リ且必要ナル援助ヲ爲スヘシ

第二十三條 司法警察官司法警察官ノ職務ヲ行フ者ニ先チ其ノ職務ノ範圍ニ屬スル被疑事件ヲ覺知シ第二十一條ノ場合ニ該當スルトキハ急速ヲ要スル處分ヲ爲シタル上速ニ司法警察官ノ職務ヲ行フ者ニ其ノ旨ヲ通知シテ捜査ヲ委ネ且必要ナル援助ヲ爲スヘシ

第二十四條 司法警察官吏ノ職務ヲ行フ者捜査ニ著手スルニ當リテハ其ノ事件職務ノ範圍ニ屬スルヤ否ニ付慎重ナル注意ヲ爲スヘシ

第二十五條 通告處分ヲ認メタル犯罪事件ニ付テハ當該官吏ノ告發アル迄ハ司法警察官吏ハ其ノ捜査ヲ當該官吏ニ一任スヘシ但シ當該官吏ノ求アルトキハ必要ナル援助ヲ爲スヘシ

司法警察ノ職ニ在ル者前項ノ犯罪事件アリト思料スルトキハ急速ヲ要スル處分ヲ爲シタル上速ニ當該官吏ニ通知スヘシ

第二十六條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ハ司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ對シ通常捜査ニ限リ豫メ範圍又ハ條件ヲ定メテ之ヲ爲スヘキコトヲ命令スルコトヲ得

第二十七條 司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者犯罪アリト思料スルトキハ直ニ司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ但シ豫メ捜査ノ命令アリタル場合ハ必要ナル捜査ヲ爲シタル上遲滯ナク其ノ旨ヲ報告スヘシ

第二十八條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者捜査其ノ他ノ職務ニ付補助ヲ要スルトキハ警察官ハ巡查ヲ使用シ憲兵ノ將校准士官下士ハ憲兵卒ヲ使用シ勅令ヲ以テ定メタル司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ハ本來ノ職務ノ關係ニ於テ下僚タルヘキ司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ使用スルヲ例トス但シ他ノ司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ使用スルノ必要アルトキハ檢事ノ指揮ヲ請フヘシ

第二十九條 司法警察ノ職ニ在ル者管轄區域外ニ於テ捜査其ノ他ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ成ルヘク其ノ地ノ司法警察ノ職ニ在ル者ニ通知シ扞格齟齬ナキコトヲ期スヘシ

第三章 捜査ノ端緒

第三十條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者捜査ニ著手スルニハ現行犯、告訴、告發、自首其ノ他犯罪アリト思料スルニ至リタル理由ノ如何ニ拘ラサルモノトス

新聞紙其ノ他ノ出版物ノ記事、匿名ノ申告又ハ風説ト雖犯罪ニ關係アルモノハ之ヲ看過スルコトナク相當ノ根據アルコトヲ認メタルトキハ捜査ニ著手スヘシ

第三十一條 司法警察官及其ノ職務ヲ行フ者左ニ掲ケル犯罪アリト思料スルトキハ速ニ之ヲ檢事ニ報告スヘシ

- 一 刑法第二編第一章乃至第四章及第八章ノ罪
- 二 死刑又ハ無期徒刑ニ該ル罪
- 三 軍機ニ關スル重大ナル罪
- 四 高等官、同待遇者、有爵者、從四位、勳三等及功三級以上ノ者ノ禁錮以上ノ刑ニ該ル罪
- 五 帝國議會、道會、府縣會及市會ノ議員ノ禁錮以上ノ刑ニ該ル罪
- 六 辯護士ノ犯シタル罪
- 七 帝國議會、道會、府縣會及市會ノ議員ノ選舉ニ關スル罪
- 八 勞働爭議及小作爭議ニ關スル重大ナル罪
- 九 治安警察法ニ違反スル重大ナル罪
- 十 新聞紙其ノ他ノ出版物ノ朝憲紊亂、秩序紊亂及風俗壞亂ノ記事ニ關スル罪
- 十一 内外國ノ通貨偽造、變造及模造ニ關スル罪
- 十二 爆發物ニ關スル重大ナル罪
- 十三 公務員ノ職務ニ關スル重大ナル罪
- 十四 法人ノ役員ノ職務ニ關スル重大ナル罪
- 十五 無政府主義者、共產主義者其ノ他社會主義者ノ其ノ主義ニ關スル罪
- 十六 各地方ニ連絡アル重大ナル罪
- 十七 外國人ノ犯シタル罪及外國人ニ對シ犯シタル重大ナル罪

十八 公衆ノ耳目ヲ惹ク罪

十九 檢事ヨリ特ニ報告ヲ命ジタル罪

前項ニ掲ケル犯罪ニ付告訴又ハ告發アリタルトキハ犯罪アリト思料スルトキハ速ニ檢事ニ報告スヘシ

第三十二條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ對シ告訴又ハ告發アリタルトキハ犯罪地、被疑者ノ住所其ノ他管轄ヲ定ムヘキ理由所轄區域内ニ存セサル場合ト雖之ヲ受理スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ急速ヲ要スル處分ヲ爲シタル上遲滯ナク之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ差出スヘシ

第三十三條 司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ對シ告訴、告發其ノ他犯罪ノ申告ニ關スル書面ヲ差出シタルトキハ之ヲ受ケ速ニ司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ送付スヘシ

第三十四條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ對シ犯罪ニ關スル申告アリタル場合ニ於テハ其ノ名稱ノ如何ヲ問ハス之ヲ受理シ實ニ從テ處理スヘシ

第三十五條 委任ニ因ル代理人ノ告訴ニ係ルトキハ委任狀ヲ差出サシムヘシ告訴ノ取消ニ付亦同シ

本人又ハ委任ニ因ル代理人ニ非サル者ノ告訴ニ係ルトキハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ差出サシムヘシ

姦通ノ罪ノ告訴ニ付テハ婚姻ノ解消又ハ離婚ノ訴ヲ提起シ證スル書面ヲ差出サシムヘシ

第三十六條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者告訴又ハ告發ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ要件ニ欠缺アルトキハ成ルヘク之ヲ補正セシムヘシ



第三十七條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者告訴又ハ告發ヲ受ケタル場合ニ於テハ成ルヘク犯罪ノ性質、方法、日時、場所、被疑者又ハ關係者ノ住居、氏名其ノ他參考ト爲ルヘキ事實ヲ申立テシメ之ヲ明ニスヘシ

第三十八條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者告訴狀又ハ告發狀ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ趣旨不明ナルトキ又ハ本人ノ意思ニ適合セサルヘシト思料スルトキハ之カ取調ヲ爲シタル上本人ヲシテ修正ノ爲書面ヲ差出サシメ若ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第三十九條 犯人ヲ指名シタル告訴又ハ告發ニ付テハ誣罔ニ出ツルナキカ否及過實ノ申立ナキカ否ニ付特ニ注意スヘシ

第四十條 犯罪ニ關スル申告ヲ爲シタル者申告ヲ爲シタルカ爲後難ヲ畏ルルノ情況アルトキハ必要アル場合ノ外被疑者其ノ他ノ關係者ニ申告者ノ氏名ヲ告クルコトヲ避クヘシ

第四十一條 告訴又ハ告發ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク必要ナル捜査ヲ爲シタル上直ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付シ指揮ヲ請フヘシ但シ書類及證據物ヲ送付シタル後ニ於テ急速ヲ要スル事項ヲ生シタルトキハ檢事ノ指揮ナシト雖之カ處分ヲ爲スヘシ

第四十二條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者告訴又ハ告發ニ付増減變更ノ申立ヲ受ケタルトキハ本人ヲシテ其ノ趣旨ヲ記載シタル書面ヲ差出サシメ又ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第四十三條 告訴狀又ハ告發狀ハ告訴又ハ告發ノ取消其ノ他何等ノ事

由アルモ之ヲ返付スヘカラス

第四十四條 告訴又ハ告發ノ取消ハ當該告訴又ハ告發ヲ受ケタルニ非サル司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テモ之ヲ受理スヘシ 告訴又ハ告發ノ取消ヲ受ケタルトキハ速ニ之ニ關スル書類ヲ檢事ニ差出スヘシ

第四十五條 第三十一條第二項、第三十二條、第三十六條乃至第三十八條及第四十一條乃至第四十三條ノ規定ハ自首ニ付テ之ヲ準用ス

第四十六條 自首ハ他人ヲシテ其ノ罪ヲ免レシムル爲自ラ誣ヒ又ハ重キ罪ヲ避クルノ目的ヲ以テ故ラニ輕キ罪ヲ首出スル等ノ場合ナシトセサルヲ以テ其ノ虛實ニ注意スヘシ

第四十七條 司法警察ノ職ニ在ル者變死者又ハ變死ノ疑アル死體ヲ發見シタルトキハ速ニ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ

前項ノ場合ニ於テ司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ハ檢事ノ指揮ナシト雖急速ヲ要スル捜査ヲ爲スヘシ但シ必要アル場合ノ外原狀ヲ變更セサルコトニ注意スヘシ

司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者檢事ノ命令ニ因リ檢視又ハ檢證ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ結果ヲ報告スヘシ但シ檢事ヨリ豫メ檢視ト共ニ檢證ノ命令アリタルトキハ檢證ヲ爲シタル上報告ヲ爲スヘシ 陸海軍ノ檢察官、陸軍司法警察官又ハ海軍司法警察官ノ囑託ニ因リ檢視ヲ爲シタル場合ニ於テ通常裁判所ノ管轄ニ屬スル犯罪アリト思料スルトキハ速ニ檢事ニ報告スヘシ

第四章 捜査ノ實行

第一節 通 則

第四十八條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ公訴ノ起否及遂行ノ資料ヲ蒐集保全シ並犯人ノ所在ヲ緝捕スルコトヲ防クヲ目的トシテ捜査ノ事ニ膺ルヘシ

第四十九條 司法警察ノ職ニ在ル者ハ平素犯罪ノ趨勢、犯罪ノ手段及罪證湮滅ノ方法其ノ他捜査ノ參考ト爲ルヘキ資料ヲ調査シ事案アルニ當リ措置ヲ誤ルコトナキヲ期スヘシ

第五十條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者犯罪アリト思料スルトキハ檢事ヨリ別段ノ命令アリタル場合ノ外直ニ捜査ニ著手スヘキモノトス但シ告訴、告發又ハ自首ニ係ル事件ニ付テハ第四十一條ノ規定ニ依ルヘシ

第五十一條 捜査ヲ爲スニハ巨惡ヲ逸セサルコトニ努メ苛察ニ涉ラサルコトヲ旨トスヘシ

第五十二條 捜査ニ付テハ其ノ目的ヲ達スル爲必要ナル限度ニ於テ諸般ノ取調ヲ爲スヘシ但シ法律ニ特ニ定メタル場合ノ外強制ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條 捜査ハ穩健妥當ナル方法ニ依リ之ヲ行ヒ且被疑者其ノ他ノ關係者ノ煩累ヲ少カラシムルコトニ注意スヘシ 被疑者其ノ他ノ關係者ノ取調ハ成ルヘク夜間ニ於テハ之ヲ行フコトヲ避クヘシ

第五十四條 捜査ニ付テハ濫ニ被疑者其ノ他ノ關係者ノ隱微ヲ計クコトナキヲ要ス

第五十五條 捜査ヲ爲スニ當リテハ濫ニ人心ヲ動搖セシメサルコトニ

注意スヘシ

第五十六條 被疑者其ノ他ノ關係者ヲ取調フルニハ濫ニ法律ノ成語其ノ他難解ノ語ヲ用キス眼メテ平易簡明ヲ旨トシ容易ニ問ノ趣旨ヲ理解セシムルコトニ注意スヘシ

第五十七條 被疑者其ノ他ノ關係者ヲ取調フルニハ穩和ヲ旨トシ其ノ年齢、境遇、性格、男女ノ別等ヲ斟酌シテ適當ノ取扱ヲ爲シ其ノ言ハムト欲スル所ヲ盡サシムルコトニ注意スヘシ

第五十八條 捜査ヲ爲スニ當リテハ被疑者ニ付左ノ事項ヲ明ニスヘシ

- 一 氏名、年齢、職業、本籍、住居及出生地
- 二 性格、經歷、境遇及素行
- 三 犯罪ノ原因、性質、方法、情狀、日時、場所、被害ノ狀況及犯罪後ノ情況
- 四 前科ノ有無若前科アルトキハ其ノ罪名、刑期、金額、裁判ヲ爲シタル職名及其ノ年月日
- 五 爵、位、勳、功、褒章、記章、恩給、年金ノ有無若之ヲ有スルトキハ其ノ種類、等級
- 六 兵役ノ關係

第五十九條 捜査ヲ爲スニ當リテハ豫斷ヲ避ケ被疑者ノ利益ト爲ルヘキ事情ヲモ明ニセムコトヲ努ムヘシ

第六十條 被疑者犯罪事實ヲ自白シタルトキト雖之ニ適應スル證據ノ有無ヲ取調フルコトニ注意スヘシ

第六十一條 共犯者ハ成ルヘク各別ニ之ヲ取調ヘ其ノ通謀ヲ防キ且附和雷同シテ陳述スルノ弊ナカラシムルコトニ注意スヘシ



第六十二條 證據書類又ハ證據物ハ成ルヘク被疑者ニ示シテ辯解ヲ爲  
サシムヘシ但シ其ノ時機ヲ誤ラサルコトニ注意スヘシ

第六十三條 捜査中ノ事件ニ付新聞記事ノ掲載ヲ差止ムル必要アリト  
思料スルトキハ速ニ其ノ事情ヲ具シ檢事ニ申報スヘシ

第二節 通常捜査

第六十四條 捜査上必要アルトキハ被疑者其ノ他ノ關係者ニ任意ノ出  
頭ヲ求メ又ハ其ノ所在ニ就キ若ハ承諾ヲ得テ犯所其ノ他ノ場所ニ同  
行シ其ノ陳述ヲ聽クコトヲ得

第六十五條 被疑者其ノ他ノ關係者ノ陳述ヲ聽キタルトキハ自ラ之ヲ  
錄取スヘシ  
事實簡單ナルカ又ハ特別ノ事情アルトキハ聽取書ヲ作ラスシテ任意  
書面ヲ差出サシムルコトヲ得

第六十六條 被疑者其ノ他ノ者ノ遺留シタル物又ハ所有者、所持者若  
ハ保管者ニ於テ任意ニ提出シタル物ハ之ヲ領置スルコトヲ得

被疑事件ノ證據ト爲ルヘキ物ハ所有者、所持者又ハ保管者ノ承諾ヲ  
得テ之ヲ領置スルコトヲ得證據ト爲ルコトアルヘシト思料スル物ニ  
付亦同シ

質屋取締法第十六條又ハ古物商取締法第十七條ニ依リ徵收シタル物  
ニシテ證據トシテ留置スルノ必要アリト思料スルモノハ同條ニ依リ  
還付處分前領置ヲ爲スヘシ

第六十七條 領置ヲ爲シタルトキハ件名、番號、品目、數量、被領置  
者ノ氏名、住居及領置年月日ヲ記載シタル領置書ヲ作り且領置物ニ  
件名、番號及被領置者ノ氏名ヲ表示スヘシ

第六十八條 領置物ニ付所有者、所持者、保管者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ請求アリ  
タルトキハ受領書ヲ交付スヘシ

第六十九條 領置物ニ付テハ保存ニ注意シ盜難、紛失、滅失、毀棄、  
損壞、變質等ヲ防ク爲相當ノ處置ヲ爲スヘシ  
領置物ノ狀態ニシテ證據ト爲ルヘキ場合ニ於テハ其ノ狀態ヲ保全ス  
ルコトニ注意スヘシ

第六十條 領置物ハ證據物又ハ沒收スヘキ物ニ非サルコト其ノ他留  
置ノ必要ナキコト明ナルニ至リタルトキハ差出人ニ還付スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ贓物ニ係ルトキハ差出人ノ承諾ヲ得テ被害者ニ還  
付スヘシ差出人承諾セサルトキハ檢事ノ指揮ヲ請フヘシ  
領置物ハ所有者、所持者、保管者又ハ差出人ノ請求アルトキハ一時  
留置ヲ解クモ捜査ニ妨ナキ場合ニ限り假ニ之ヲ請求者ニ還付スルコ  
トヲ得差出人ニ非サル者ノ請求ニ因リ假還付ヲ爲スニハ前項ノ手續  
ニ依ルヘシ  
前二項ノ場合ニ於テ差出人ノ承諾ヲ得タルトキハ承諾書ヲ差出サシ  
ムヘシ  
領置物ヲ還付シ又ハ假還付ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ領置書ニ記載  
シ且請書ヲ徵スヘシ

第七十條 犯所其ノ他ノ場所ニ就キ實況ヲ明ニスルノ必要アルトキハ  
其ノ場所ノ所有者、保管者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ承諾ヲ得テ見分ヲ  
爲スコトヲ得  
實況見分ニ著手シタル後檢事ノ見分又ハ臨檢ヲ必要ト思料スルトキ  
ハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ報告シ自ラ見分ヲ結了シタルト否ヲ問ハス原

第七十一條 刑事訴訟法第二百二十三條各號ノ場合又ハ現行犯人ヲ逮捕  
シ若ハ之ヲ受取リタル場合其ノ他法律ニ定メタル場合ノ外捜査ニ付  
強制ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 強制ノ處分ヲ爲サムトスルニハ法律ニ定メタル場合ニ該  
當スルヤ否ニ付慎重ノ考慮ヲ爲シ其ノ場合ニ該當スルコトヲ明認シ  
タル上之ヲ爲スヘシ  
強制ノ處分ヲ爲スコトヲ得ル場合ニ於テモ特ニ其ノ必要アルトキノ  
外之ヲ爲スコトヲ避クヘシ  
強制ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ嚴ニ必要ノ限度ヲ超エサルコトニ注  
意スヘシ

第七十三條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者捜査ニ付強制ノ處分ヲ  
爲シタル場合ニ於テハ之ニ關スル書類ハ自ラ之ヲ作ルヘシ  
被疑者、證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ立會ヒタル司法警察吏又ハ其ノ職  
務ヲ行フ者ハ調書ノ末尾ニ其ノ旨ヲ附記シ署名捺印スヘシ

第七十四條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者捜査ニ付判事ノ強制處  
分ヲ必要トスル事情アリト思料スルトキハ狀ヲ具シテ檢事ニ申報ス  
ヘシ

第七十五條 現行犯人ヲ逮捕スルニハ眼メテ穩當ノ方法ヲ用キ苛酷ニ  
涉ラサルコトニ注意スヘシ  
現行犯人兇器ヲ持シ抗拒スル場合ニ於テ已ムコトヲ得ス劍銃等ヲ使  
用スルモ決シテ自衛ノ範圍ヲ踰ユヘカラス

第七十六條 常人ニシテ現行犯人ヲ逮捕シ之ヲ引渡サムトスルモノアル  
トキハ成ルヘク其ノ便宜ヲ計リ速ニ之ヲ受取ルヘシ

第七十七條 鑑定ヲ爲サシムル場合ニ於テハ成ルヘク鑑定ノ現場ニ立  
會ヒ捜査ノ參考ト爲ルヘキ事實ヲ發見スルコトニ努ムヘシ但シ鑑定  
ノ手續ニ付干渉スルコトヲ得ス

第七十八條 鑑定ヲ爲サシメタルトキハ鑑定ノ時、場所、手續及結果  
ヲ記載シタル鑑定書ヲ提出セシムヘシ  
鑑定書ニシテ不明又ハ不備ノ點アルトキハ其ノ説明書ヲ提出セシメ  
鑑定書ニ添附スヘシ

第七十九條 第三節 強制捜査

第八十條 第十三類 附 錄

第七十條 第七百四十九

第七十一條

第七十二條

第七十三條

第七十四條

第七十五條

第七十六條

第七十七條

第七十八條



第八十一條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者ヨリ其ノ逮捕シタル現行犯人ヲ受取リタル場合ニ於テハ逮捕ノ事由ヲ聽取リ逮捕調書ヲ作成スヘシ但シ逮捕手續書ヲ徴シテ之ニ代フルコトヲ得

司法警察ノ職ニ在ル者常人ヨリ現行犯人ヲ受取リタル場合ニ於テハ逮捕者ノ氏名、住居及逮捕ノ事由ノ要領ヲ記載シタル逮捕顛末書ヲ作成スヘシ

司法警察吏又ハ其ノ職務ヲ行フ者常人ヨリ受取リタル現行犯人ヲ司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ引致シタルトキハ速ニ逮捕顛末書ヲ司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ差出スヘシ

第八十二條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者現行犯人ヲ逮捕シ又ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ其ノ犯罪親告罪ニシテ告訴ナキトキハ速ニ告訴權者ニ就キ告訴ヲ爲スヤ否ヲ確ムヘシ

第八十三條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者刑事訴訟法第二百三條各號ノ場合ニ於テ勾引ヲ必要トスル事情アリト思料スルトキハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ報告スヘシ

檢事ノ命令ニ因リ發スル勾引狀ニハ命令ヲ爲シタル檢事ノ職、氏名及命令ニ因リ之ヲ發スル旨ヲ記載スヘシ

第八十四條 被疑者ニ對スル訊問及被疑者ノ供述ハ即時ニ調書ニ記載スヘシ

第八十五條 證據物又ハ沒收スヘキ物ヲ所持スルノ疑アル場合ト雖澀滅ノ虞アルトキノ外成ルヘク搜索ヲ爲サズ本人ヲシテ之ヲ差出サシムヘシ

ハ公開時間外ト雖其ノ處分ヲ繼續スルコトヲ得但シ迅速ニ之ヲ結了スルコトニ注意スヘシ

第九十二條 押収又ハ搜索ヲ爲スニハ適當ノ方法ヲ用キ濫ニ建築物、器具等ヲ損壞スルコトナキヲ要ス

押収又ハ搜索ヲ爲スニ當リテハ書類其ノ他ノ物ノ紛亂セサルコトニ注意シ且其ノ處分ヲ終ヘタルトキハ成ルヘク原狀ニ復スヘシ

第九十三條 押収又ハ搜索ヲ爲スニ當リ他ノ犯罪ニ關スル顯著ナル證據物ヲ發見シタルトキハ假押収ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載シタル報告書ヲ作り假押収ノ調書及押収物ト共ニ檢事ニ送付シ且其ノ犯罪ノ捜査ニ付機宜ヲ失ハサルコトニ注意スヘシ

第九十四條 刑事訴訟法第六十四條第三項ニ依リ廢棄處分ヲ爲シ又ハ同法第六十五條ニ依リ賣却處分ヲ爲ス場合ニ於テハ檢事ノ指揮ヲ請フヘシ但シ急速ヲ要スル場合ハ其ノ處分ヲ爲シタル後速ニ檢事ニ報告スヘシ

第九十五條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者檢事又ハ他ノ司法警察官若ハ其ノ職務ヲ行フ者ノ命令又ハ囑託ニ因リ押収ヲ爲シタルトキハ速ニ命令又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ押収物ヲ送付スヘシ

刑事訴訟法第六十四條第二項ニ依リ看守又ハ保管ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ命令又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ報告スヘシ

同條第三項ニ依リ廢棄處分ヲ爲サルトキハ其ノ旨ヲ命令又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ報告シテ指揮又ハ承諾ヲ受クヘシ但シ急速ヲ要スル場合ハ其ノ處分ヲ爲シタル後速ニ命令又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ報告スヘシ

第八十六條 押収又ハ搜索ヲ爲スニハ成ルヘク其ノ範圍ヲ廣クセサルコトニ注意スヘシ

第八十七條 軍上祕密ヲ要スル場所ニ於テ押収、搜索又ハ檢證ヲ爲スノ必要アリト思料スルトキハ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ

第八十八條 賭博、富籤又ハ風俗ヲ害スル行爲ニ常用セララルモノト認ムヘキ場所ノ外人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建築物若ハ艦船ノ内ニ於テ物ヲ搜索スルノ必要アリト思料スルトキハ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ但シ急迫ノ事情アリテ檢事ノ指揮ヲ待ツノ違ナキトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ速ニ搜索ノ結果ヲ檢事ニ報告スヘシ

第八十九條 人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建築物若ハ艦船ノ内ニ於テ押収、搜索又ハ檢證ヲ爲スニ當リ住居主若ハ看守者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ求アリタルトキハ搜索ニ妨ナキ限リ被疑事件ヲ告クヘシ

第九十條 押収又ハ搜索ハ特別ノ事情アル場合ノ外其ノ處分ヲ受クル者ノ業務ヲ妨ケ信用ヲ損シ其ノ他利益ヲ害スルコト多カルヘキ時刻ニ於テハ之ヲ行フコトヲ避クヘシ

人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建築物若ハ艦船ノ内ニ於テ日没前押収又ハ搜索ニ著手シ日没後其ノ處分ヲ繼續スル場合ニハ特ニ迅速ニ之ヲ結了スルコトニ注意スヘシ

第九十一條 刑事訴訟法第五十六條各號ノ場所ニ於テ日出前、日没後押収又ハ搜索ヲ爲ス場合ニ於テモ成ルヘク住居主若ハ看守者又ハ之ニ代ルヘキ者ノ承諾ヲ求ムヘシ

同條第二號ノ場所ニ於テ公開時間内押収又ハ搜索ニ著手シタルトキ

署ニ報告スヘシ

同法第六十五條ニ依ル賣却處分ヲ爲スノ必要アリト思料シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ命令又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ報告シテ其ノ處分ニ委ヌヘシ

第九十六條 第六十七條乃至第六十九條ノ規定ハ本節ノ押収ニ付之ヲ準用ス

第九十七條 檢證ノ處分ニ因リ原狀ヲ變更シタルトキハ成ルヘク舊態ニ復スヘシ

死體ノ解剖、墳墓ノ發掘又ハ貴重品ノ毀壞ヲ必要トスルトキハ檢事ノ指揮ヲ請フヘシ但シ檢事ノ命令ニ因リ變死者又ハ變死ノ疑アル死體ヲ檢證スル場合ニ於テ解剖ヲ必要トスルトキハ此ノ限ニ在ラス

死體ヲ解剖シ又ハ墳墓ヲ發掘スル場合ニ於テ遺族ナキモ近親アルトキハ成ルヘク之ニ通知スヘシ

第九十八條 證人ニハ主トシテ見聞其ノ他實驗ノ事實ヲ供述セシメ成ルヘク推測ノ事項ヲ供述セシムルコトヲ避クヘシ

第九十九條 證人ヲ被疑者又ハ他ノ證人ト對質セシムルニハ其ノ時機ニ注意シ且兩者間ノ關係ヲ顧慮シテ適當ナル發問ヲ爲シ眞實ノ供述ヲ爲サシムルコトヲ努ムヘシ

第一百條 證人ニ對スル訊問及證人ノ供述ハ即時ニ調書ニ記載スヘシ

第一百一條 證人ヲ過料ニ處シ又ハ之ニ賠償ヲ命スヘキ處分ヲ裁判所ニ請求スルニハ其ノ裁判所ノ檢事ヲ經由シテ請求書ヲ差出スヘシ

第一百二條 鑑定ニ付死體ノ解剖又ハ貴重品ノ毀壞ヲ必要トシテ鑑定人ヨリ其ノ許可ヲ求メタルトキハ檢事ノ指揮ヲ請フヘシ但シ腐敗其ノ



ノ理由ニ因リ檢事ノ指揮アル迄其ノ物ヲ保存シ難キトキハ此ノ限ニ  
他在ラス  
死體ヲ解剖スル場合ニ於テハ鑑定人ト共ニ禮意ヲ失ハサルコトニ注  
意シ遺族アルトキハ之ニ通知シ遺族ナキモ近親アルトキハ成ルヘク  
之ニ通知スルノ處置ヲ執ルヘシ  
第三百三條 第七十一條乃至第七十四條及第一百一條ノ規定ハ本節ノ鑑定  
ニ付之ヲ準用ス

第五章 令狀ノ執行

第四百四條 勾引狀、勾留狀又ハ逮捕狀ノ執行ノ指揮ヲ受ケタルトキハ  
速ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ若其ノ手續遅延スルノ事情アルトキハ其ノ  
旨ヲ執行ノ指揮ヲ爲シタル檢事其ノ他ノ官署ニ報告スヘシ  
勾引狀、勾留狀又ハ逮捕狀ニ指定セラレタル者心神喪失ノ狀態ニ在  
ルトキ又ハ執行ニ因リ著シク健康ヲ害スル虞アルトキハ執行ヲ指揮  
シタル檢事其ノ他ノ官署ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ  
前二項ノ規定ハ司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者命令若ハ囑託ニ因  
リ勾引狀ヲ發シ又ハ命令ニ因リ逮捕狀ヲ發シタル場合ニ之ヲ準用ス  
第三百五條 勾引狀、勾留狀又ハ逮捕狀ノ執行ハ指揮ヲ受ケタル當該司  
法警察ノ職ニ在ル者ノミナラス其ノ官署ニ勤務スル他ノ司法警察ノ  
職ニ在ル者ニ於テモ之ヲ行フコトヲ得  
第三百六條 勾引狀、勾留狀又ハ逮捕狀ニ指定セラレタル者管轄區域外  
ニ在ルトキハ其ノ地ヲ管轄スル司法警察官ニ勾引狀、勾留狀又ハ逮  
捕狀ヲ送付シテ執行ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ速ニ其ノ旨  
ヲ命令若ハ囑託ヲ爲シタル官署又ハ執行ノ指揮ヲ爲シタル檢事其ノ

他ノ官署ニ報告スヘシ  
執行ノ求ヲ受ケタル司法警察官ハ所轄檢事ノ指揮アリタル場合ト同  
シク執行ノ手續ヲ爲シ之ニ關スル書類ヲ執行ヲ指揮シタル檢事其ノ  
他ノ官署ニ差出スヘシ

第三百七條 司法警察官命令若ハ囑託ニ因リ發シタル勾引狀又ハ命令ニ  
因リ發シタル逮捕狀ヲ執行シタルトキハ其ノ原本ヲ命令又ハ囑託ヲ  
爲シタル官署ニ差出スヘシ

司法警察官出頭義務ヲ履行セサル證人ニ對シ自ラ發シタル勾引狀ヲ  
執行シタルトキハ其ノ原本ヲ調書ト共ニ檢事ニ送付スヘシ  
第一項ノ勾引狀又ハ逮捕狀ヲ執行スルコト能ハサルトキハ之ヲ命令  
又ハ囑託ヲ爲シタル官署ニ送付スヘシ若參考ト爲ルヘキ事項アルト  
キハ同時ニ報告スヘシ

第三百八條 勾引狀、勾留狀又ハ逮捕狀ヲ執行スル場合ニ於テハ成ルヘ  
ク穩當ノ方法ヲ用キ必要ノ限度ヲ超エテ強制ヲ加ヘス且他人ヲシテ  
執行ヲ受ケタル者ナルコトヲ覺知セシメサルコトニ注意スヘシ

第三百九條 裁判所、豫審判事、受命判事、受託判事又ハ區裁判所判事  
ノ發シタル押収又ハ搜索ノ命令狀ハ之ヲ受ケタル當該司法警察官又  
ハ其ノ職務ヲ行フ者ノミナラス其ノ官署ニ勤務スル他ノ司法警察官  
又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テモ之ヲ執行スルコトヲ得

第三百十條 命令狀ニ因リ押収又ハ搜索ノ手續ヲ爲シタルトキハ其ノ結  
果ヲ得サル場合ト雖速ニ命令狀ヲ檢事ヲ經由シテ之ヲ發シタル官署  
ニ返還スヘシ  
前項 場合ニ於テハ押収又ハ搜索ノ手續ノ顛末及參考ト爲ルヘキ事

項ヲ調書ニ記載シ命令狀ト共ニ送付スヘシ

第六章 捜査事件ノ處理

第一百一條 司法警察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者被疑事件ニ付捜査ヲ終  
ヘタルトキハ捜査ノ端緒如何ヲ問ハス速ニ檢事ニ送致スヘシ但シ即  
決スヘキ事件ニシテ告訴、告發又ハ自首ニ係ラサルモノニ付テハ此  
ノ限ニ在ラス  
被疑事件ヲ檢事ニ送致スルトキハ意見ヲ付シ且參考ト爲ルヘキ事項  
ヲ報告スヘシ捜査書類及差押ヘ又ハ領置シタル物ハ意見書ト共ニ檢  
事ニ送付スヘシ  
第一百十二條 檢事ヨリ微罪トシテ豫メ指定シタル事件罪ト爲ラサルコ  
ト又ハ犯罪ノ嫌疑ナキコト明ナルニ至リタルトキハ之ヲ檢事ニ送致  
スルコトヲ要セズ  
第一百十三條 犯罪事實極メテ輕微ニシテ處罰ノ必要ナキコト明白ナル  
トキハ事件ヲ檢事ニ送致セズシテ微罪處分ヲ爲スコトヲ得  
微罪處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ檢事ニ報告スヘシ  
第一百十四條 告訴、告發若ハ自首ニ係ル事件又ハ檢事ノ送致ヲ命シタ  
ル事件ハ前二條ノ規定ニ拘ラス之ヲ檢事ニ送致スヘシ  
第一百十五條 被疑事件ノ送致後ト雖常ニ其ノ事件ニ注意シ參考ト爲ル  
ヘキ事項ヲ發見シタルトキハ速ニ檢事ニ報告スヘシ  
第一百十六條 被疑事件通常裁判所ノ管轄ニ屬セサルコト明ナルニ至リ  
タルトキハ事件ヲ相當官署ニ送致スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ其ノ事件告訴、告發若ハ自首ニ係ルモノナルトキ  
又ハ第三十一條ニ依リ報告シタルモノナルトキハ速ニ其ノ旨ヲ檢事

ニ報告スヘシ

第七章 少年ニ關スル特則

第一百七條 少年ノ事件ニ付テハ保護教養ヲ主トスルノ精神ヲ以テ事  
ニ膺ルヘシ  
第一百十八條 少年ノ被疑者ヲ取調フルニ當リテハ特ニ他人ノ耳目ニ觸  
レサルコトニ注意スヘシ  
第一百十九條 少年ノ被疑者ハ他ノ被疑者ト分離シ接觸セシメサルコト  
ニ注意スヘシ  
第一百二十條 少年ノ被疑者ハ已ムコトヲ得サル場合ノ外拘束スヘカラ  
ス  
第一百二十一條 少年ヲ逮捕シ又ハ引致スル場合ニ於テハ其ノ方法及強  
制ヲ加フル限度ニ付特ニ慎重ノ注意ヲ爲スヘシ  
第一百二十二條 少年ニ對スル被疑事件ニ付テハ犯罪事實輕微ニシテ處  
罰ノ必要ナシト思料スル場合ト雖微罪處分ヲ爲サシテ事件ヲ檢事  
ニ送致スヘシ  
第一百二十三條 少年ニ對スル刑事事件ハ捜査又ハ豫審ニ關スルモノノ  
ミナラス公判ニ付セラレタル事項ト雖特ニ秘密ヲ嚴守スヘシ少年審  
判所ノ審判ニ付セラレタル事項亦同シ  
第八章 外國人ニ關スル特則  
第一百二十四條 外國人ニ關シ司法警察ノ職務ヲ行フニ當リテハ國際法  
及國際上ノ慣例ニ違背セサルコトニ注意スヘシ  
第一百二十五條 外交官ノ特權ヲ有スル者ニ對シテハ其ノ特權ヲ害スル  
ノ虞アル行爲ヲ爲ササルコトニ注意スヘシ外交官ノ特權ヲ有スル者



ナリヤ否ニ付疑アルトキハ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ  
 第二百二十六條 大公使館、大公使ノ居室、別荘又ハ其ノ宿泊スル場所ニ於テハ搜查其ノ他ノ處分ヲ爲スヘカラス  
 第二百二十七條 重大ナル罪ヲ犯シタル者逃亡シテ前條ニ掲クル場所ニ入りタル場合ニ於テ猶豫スヘカラサルトキハ大公使又ハ之ニ代ルヘキ權限アル者ノ許諾ヲ受ケ搜查ヲ爲スコトヲ得  
 第二百二十八條 重大ナル罪ヲ犯シタル者帝國ノ領海ニ在ル外國軍艦ニ現在スル場合ニ於テ急速ヲ要スルトキハ其ノ艦長ニ對シ任意ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得  
 第二百二十九條 外國軍艦ニ屬スル軍人、準軍人其ノ軍艦ヲ離レ帝國內ニ於テ現ニ罪ヲ犯シ猶豫スヘカラサル場合ニ於テハ逮捕ノ處分ヲ爲シタル上速ニ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ  
 第三百十條 任命國ノ國民タル帝國駐在ノ外國總領事、領事、副領事、領事事務官及代理領事ニ對スル被疑事件ニ付テハ檢事ノ指揮アルニ非サレハ急速ヲ要スル處分ト雖之ヲ爲スコトヲ得ス但シ重大ナル罪ヲ犯シ猶豫スヘカラサル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
 第三百十一條 帝國駐在ノ外國領事官ノ所有又ハ所持スル書類ニシテ職務ニ關係アルモノハ之ヲ檢閲シ又ハ差押フルコトヲ得ス  
 前項ノ領事官ノ事務所又ハ居室ニ於テ搜查其ノ他ノ處分ヲ爲スノ必要アリト思料スルトキハ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ但シ急速ヲ要スル處分ハ此ノ限ニ在ラス  
 第三百十二條 帝國ノ領海ニ在ル外國船舶内ノ犯罪ニ付テハ左ノ場合ニ於テ司法警察ノ職務ヲ行フヘシ

一 帝國ノ陸上又ハ港内ノ安寧秩序ヲ害スルトキ  
 二 乗組員以外ノ者又ハ帝國臣民ニ關係アルトキ  
 前項ニ掲クル場合ノ外特ニ搜查ノ必要アリト思料スルトキハ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ  
 第三百十三條 帝國ノ領海ニ在ル外國船舶ノ航行ノ停止ヲ必要ナリト認ムルトキハ直ニ檢事ニ報告シテ指揮ヲ請フヘシ  
 第三百十四條 外國人口頭ヲ以テ告訴、告發、請求又ハ自首ヲ爲サムトスル場合ニ於テ國語ニ通セサルトキハ成ルヘク通事ヲシテ通譯ヲ爲サシムヘシ  
 前項ノ場合ニ於テ作成シタル調書ハ通事ニ依リ之ヲ本人ニ讀聞カセ通事及本人ヲシテ署名又ハ署名捺印セシムヘシ  
 第三百十五條 外國人ヨリ外國語ヲ以テ記載シタル告訴狀、告發狀其ノ他ノ書類ヲ提出シタルトキハ之ヲ受理シタル上成ルヘク譯文ヲ提出セシムヘシ  
 譯文ニハ譯者ヲシテ其ノ住居及職業ヲ記入シ署名捺印セシムヘシ  
 第三百十六條 被疑者外國人ナル場合ニ於テハ左ノ事項ヲモ明ニスヘシ  
 一 國籍  
 二 帝國ニ來リタル時期及目的  
 三 本國ヲ去リタル時期  
 四 外國ニ於テノ受刑ノ有無  
 五 家族ノ有無及其ノ住居  
 第三百十七條 被疑者其ノ他ノ關係者外國人ニシテ國語ニ通セサルト

更及司法警察官吏ノ職務ヲ行フ者ヲ謂フ

キハ通事ヲ用キテ取調ヲ爲シ其ノ調書ハ通事ニ依リ本人ニ讀聞カセ通事及本人ヲシテ署名又ハ署名捺印セシムヘシ  
 前項ノ場合ニ於テ本人其ノ必要トスル事項ヲ記載セムコトヲ求メタルトキハ之ヲ調書ノ末尾ニ記載セシムヘシ  
 第三百十八條 外國ノ公務員又ハ公務員タリシ者其ノ知得タル事實ニシテ本人又ハ當該公務所ヨリ職務上ノ秘密ニ關スルモノナルコトヲ申立テタルトキ又ハ外國人其ノ業務上委託ヲ受ケタル爲知得タル事實ニシテ他人ノ秘密ニ關スルモノナルコトヲ申立テタルトキハ供述ヲ爲サシムルコトヲ得ス  
 前項ノ場合ニ於テハ速ニ檢事ニ報告スヘシ  
 第三百十九條 外國人ニ對シテ發スル召喚狀、勾引狀又ハ逮捕狀ニハ成ルヘク譯文ヲ添附スヘシ  
 第三百十條 外國人ニ對シ勾引狀、勾留狀又ハ逮捕狀ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テハ成ルヘク其ノ國語ニ通スル者ヲシテ之ニ當ラシムヘシ  
 第三百十一條 外國人ニ對シ押收調書若ハ押收目録ノ謄本若ハ抄本又ハ領置ニ關スル受領書ヲ交付スルトキハ成ルヘク之ニ譯文ヲ添附スヘシ  
 第三百十二條 外國艦船乗組員ノ逮捕、留置又ハ逃亡犯罪人ニ關シ檢事ノ指揮ニ因リ取扱ヒタル事項ニ付テハ速ニ檢事ニ報告スヘシ  
 第三百十三條 逃亡犯罪人引渡條例ニ依リ檢事ノ發シタル逮捕狀、假逮捕狀ヲ執行スルニ當リ本人ノ携帶品ヲ差押ヘタルトキハ其ノ目録ヲ作り本人ト共ニ檢事ニ引渡スヘシ  
 (備考) 本規範ニ於テ司法警察ノ職ニ在ル者ト稱スルハ司法警察官



Table of contents or index page with multiple columns of text, including page numbers and titles.

昭和八年七月十七日印行  
昭和八年七月二十日發行  
現行帝室林野局制規集(奧附)

不許  
復製

定價 ¥ 7.00  
内地送料 ¥ 0.20

發行所

東京市王子區志茂町一丁目五八六番地

聯合出版社

振替東京五二五〇番

帝室林野局編纂

發行者

外川文平

印刷所

東京市王子區志茂町一ノ五八六番地  
聯合出版社印刷部  
東京市京橋區湊町三丁目



2402

不 良  
特 錄

007 野家  
020 日家

東京市王子區志茂町一丁目五八六番地  
昭和二十一年五月二十日發行  
本紙十八日印刷

東京市王子區志茂町一丁目五八六番地

聯合出版部

電話東京五二五〇番

東京市王子區志茂町一丁目五八六番地

發行部

印刷部

帝室林理員協會

東京市王子區志茂町一丁目五八六番地



14.7

608



